平成 2 5 年

南部町議会第 1 回定例会会議録

平成 2 5 年 3 月 6 日 開会

平成 2 5 年 3 月 2 2 日 閉会

山梨県南部町議会

平成 2 5 年

南部町議会第 1 回定例会会議録

3 月 6 日

平成25年第1回南部町議会定例会（第1日目）

議事日程（第1号）

平成25年3月6日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議長あいさつ
2. 開会・開議
3. 日程報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸報告

日程第4 提出議題の報告

日程第5 議案の上程・説明

議案第 1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

議案第 2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について

議案第 3号 南部町道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について

議案第 4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について

議案第 5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 7号 南部町学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更について

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）

議案第11号 平成24年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

議案第12号 平成24年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第3号）

議案第13号 平成24年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第14号 平成24年度南部町介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第15号 平成24年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

議案第16号 平成24年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）

- 議案第17号 平成24年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計
補正予算(第1号)
- 議案第18号 平成24年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計
補正予算(第1号)
- 議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算
- 議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算
- 議案第21号 平成25年度南部町指定居宅サービス特別会計予算
- 議案第22号 平成25年度南部町国民健康保険特別会計予算
- 議案第23号 平成25年度南部町介護保険特別会計予算
- 議案第24号 平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第25号 平成25年度南部町睦合財産区特別会計予算
- 議案第26号 平成25年度南部町富沢財産区特別会計予算
- 議案第27号 平成25年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計
予算
- 議案第28号 平成25年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計
予算

- 日程第6 提出議案に対する質疑
- 日程第7 提出議案の委員会付託
- 日程第8 一般質問
- 日程第9 議員派遣の件

4. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	遠藤光宣	2番	仲亀佳定
3番	森田守	4番	望月藤一
5番	望月將名	6番	簀持雅
7番	鍋田幹雄	8番	木内利明
9番	堀之内可和	10番	佐野哲也
11番	内田大明	12番	萩原敬

5. 欠席議員(なし)

6. 会議録署名議員

1番	遠藤光宣	11番	内田大明
----	------	-----	------

7. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名(24名)

町長	佐野和広	教育委員長	若林一明
代表監査委員	大窪昌樹	教育長	久保川昭弘
会計管理者	望月宝	総務課長	若林正昭
交通防災課長	望月一弥	企画課長	佐野隆行
財政課長	四條和彦	税務課長	青木司
住民課長	古屋秀樹	福祉保健課長(兼) 地域包括支援センター所長	望月政文
アルファセンター所長	小倉弘規	デイサービスセンター所長 (兼)老人福祉センター所長	近藤勝
健康管理センター所長	小池治男	子育て支援課長	田村秋人
水道環境課長	長坂正志	環境センター所長	若林邦治
産業振興課長(兼) 農業委員会事務局長	斉藤文明	建設課長	鈴木正規
登記室長	佐野日出夫	学校教育課長	若林治
生涯学習課長	仙洞田秀文	生涯スポーツ課長	望月良治

8. 職務のために議場に出席した者の職氏名(1名)

議会事務局長 望月哲也

開会 午前 9時30分

○議長（萩原敬君）

平成25年第1回定例会の開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

海外では2月に引き続き、エジプトの熱気球の事故により、4人の日本人の尊い命が失われました。

隣の韓国では、新しく女性の大統領が就任、中国でも国家首席が交代になり、少なからず日本にも影響があるものと思われまます。

国内では、国会が開会中であり、補正予算が衆参両院で成立し、当初予算の審議中であり、所得を増やす目的でデフレ脱却をうたう安倍総理であります。円安による物価高が先行し、国民の生活が苦しくならないことを祈るばかりであります。

議員各位には、2月には各種研修会や講演会等に参加していただき、24日には生涯学習フェスティバルに出席をいただく等、それぞれの立場で活動をしていただいているところであります。

さて、本定例会は平成25年度の町民生活に直接関係する当初予算等を審議する重要な会議であります。

また、就任以来任期の半分が経過し、佐野町長にとって重要な時期に来ており、予算の内容も時間をかけて査定をしたと聞いております。必然的に内容が濃く、例年以上に多種多様であると思われまます。

我々議会といたしましても、改選後最初の当初予算でありますので、気を入れて慎重審議をしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、議員各位の第1回定例会への全員のご参集にお礼を申し上げますとともに、円滑なる議会運営に格段のご協力をお願い申し上げます。開会のあいさつとさせていただきます。

ただいまから、平成25年南部町議会第1回定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、平成25年南部町議会第1回定例会は成立いたしました。

それでは、ただちに本日の会議を開きます。

○議長（萩原敬君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により議長において、11番 内田大明議員及び1番 遠藤光宣議員の両名を指名いたします。

○議長（萩原敬君）

日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から3月22日までの17日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から3月22日までの17日間とすることに決定いたし

ました。

○議長（萩原敬君）

日程第3 諸報告を行います。

地方自治法第121条第1項の規定により、町長及び教育委員会委員長に出席を求めたところ、お手元に配布のとおり、説明員の出席並びに委任の通知がありましたので、ご承知願います。

町長からお手元に配布付のとおり、議案の提出がありましたので、報告いたします。

次に、請願、陳情等についてであります。今期定例会に付する請願、陳情等はありません。

次に、監査委員から地方自治法第235条の2第3項の規定による、平成24年度会計にかかる24年11月分、12月分、25年1月分に関する現金出納検査の結果報告がありました。写しをお手元に配布しておきましたので、ご承知おき願います。

以上で諸報告を終わります。

○議長（萩原敬君）

日程第4 提出議題の報告ですが、お手元に配布してありますので、提出議題の朗読を省略させていただきます。

○議長（萩原敬君）

- 日程第5 議案第 1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議案第 2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について
議案第 3号 南部町道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について
議案第 4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
議案第 5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 7号 南部町学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更について
議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）
議案第11号 平成24年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
議案第12号 平成24年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第3号）
議案第13号 平成24年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第14号 平成24年度南部町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第15号 平成24年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
議案第16号 平成24年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）

議案第17号 平成24年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算
(第1号)

議案第18号 平成24年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計補正予算
(第1号)

議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算

議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算

議案第21号 平成25年度南部町指定居宅サービス特別会計予算

議案第22号 平成25年度南部町国民健康保険特別会計予算

議案第23号 平成25年度南部町介護保険特別会計予算

議案第24号 平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算

議案第25号 平成25年度南部町睦合財産区特別会計予算

議案第26号 平成25年度南部町富沢財産区特別会計予算

議案第27号 平成25年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計予算

議案第28号 平成25年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計予算

以上、28件について一括議題として、町長の提案理由の説明を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

平成25年第1回定例会開催にあたり、提出いたしました案件の説明に先立ちまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

本日、南部町議会第1回定例会を開催しましたところ、何かとご多忙のところ、全議員の皆さまのご出席を賜り、議会が開催されますことに、心から感謝申し上げます。

昨年、政権が代わり誕生しました安倍政権への期待から、円安・株高となり、経済再生政策として、デフレと円高からの脱却、名目3%以上の経済成長の達成など、これを実現するための強気な経済政策案が掲げられ、日本経済も再生となるのか、造語ともなっている「アベノミクス」に期待するところです。

また、米軍基地移転やTPP、エネルギーや領土問題など、多くの課題に直面している中で経済再生に向けた緊急的補正予算が組まれましたが、そう簡単に私たちの生活改善につながるはずもなく、その事業効果が表れるには時間がかかると思います。

平成25年度から、合併市町村に交付される地方交付税が、一本算定により、平成29年度までの段階的縮減期間5年間で約4億8千万円が減額されることや、大変厳しい経済状況下で年々税収も減少となっていることを考えますと、着実な事業執行と常に現状分析を行う行政をすべきと考えているところです。

任期の折り返しでもありますが、昨年、住民の皆さまのご理解を得、ゴミ問題も1つの区切りが付いたと考えています。

ゴミの分別がされ、可燃ゴミの量がだいぶ減ってきておりますが、生ゴミを減らすことにより、さらに減量化がされると思っています。

町民の皆さまの努力が数字で平成24年度の決算時に結果を報告できると思いますし、時々広報などを通して状況報告をいたします。

中部横断自動車道の工事町内至るところでトンネル、橋梁など、構造物の工事が始まっておりますし、開通に合わせて整備を計画しております、中野交流施設の準備についても、予算

付けを25年度で行っています。

以前申し上げたように、詳細の詰めを、準備に向けて進めているところです。

また、旧万沢中学校跡地への集合住宅についても、旧校舎解体工事が終わりますので、早急に建設を進め、再来年度には入居できるように進めてまいりたいと考えております。

来年度の施策については、年頭のあいさつで申し上げましたが、4月以降には住民の皆さまとの対話集会を計画しています。

また、防災への取り組みとして、防災備蓄品の充実や体制の強化、組織訓練等を行うよう計画しております。

1月に答申を受けた保育所の統合問題につきましては、対話集会の議題にあげたいと考えております。

この5月29日には、これからの南部町の健康づくりの一環となればと、チャレンジデー2013の開催をいたします。南部町と同規模の町村とで、15分間の運動やスポーツに参加した人数で、住民参加率を競い合う住民総参加型の内容ですが、1人でも多くの町民に参加を呼びかけ、多くの方に参加していただき、それをきっかけに、一人ひとりが健康づくりへつなげていただければと思っています。

厳しい状況下、緊縮化する財政の中で何を優先して行っていくべきか、常に精査しながら町政運営に努め、町民の皆さまのご理解をお願いするところです。

それでは、12月から3月までの行政報告をいたします。

12月27日に市町村で構成されます、総合事務組合議会全員協議会が開催され、出席いたしました。

1月5日、成人式が町文化ホールで行われ、100名の若者が成人を迎えましたが、多くの若者がこれからのまちづくりに積極的な参加をしていただくことを期待しています。

1月6日、平成25年南部町消防団出初め式が行われ、当日は、大変厳しい寒さの中、昨年、山梨県消防団員操法大会で峡南支部代表として出場し、準優勝を果たしました団員の演技を拝見いたしました。これからも町民の生命・財産を守るため、消防団活動に励んでいただきたいと思います。

1月19日、第28回国民文化祭やまなし「地歌舞伎の祭典」が南部町文化ホールを会場に行われ、多くの来場者から高い評価を受けました。通年会期として10月30日までの303日間にわたり、県下の市町村を舞台に芸術・文化イベントが繰り広げられますが、地歌舞伎の祭典も多くの関係者の皆様のご苦勞があつて、成功裏に終わったことに感謝と敬意を表したいと思います。

1月27日、第10回南部町駅伝大会が開催され、私もスターターとして参加をさせていただきました。出場チームも61チームを数え、町内外から多くの方に参加いただき、南部の地を走っていただきましたが、大会を運営した関係者にお礼を申し上げますとともに、ますます盛んになるよう、期待しております。

1月31日、山梨県人会連合会新春賀詞交歓会が東京で行われ、招待を受け、参加いたしました。知事や各市町村長ともども、在京の方々と意見交換をすることができました。

2月6日、中部横断自動車道の早期開通に向けて、身延町長とともに関係機関と国会議員に陳情を行ってまいりました。

2月7日、8日、山梨県町村会町村長研修及び町村長会議に出席をし、前高知県知事 橋本

大二郎氏の講演から、地域の個性を生かし残していくことがグローバル化につながり、企業より人を呼び入れていくことが大事であり、まちづくりの思考を変えることが必要だと話されました。

2月18日、南部町農業委員会農業委員当選証書付与式が行われ、また2月21日の臨時議会で農業委員が推薦されましたが、農業従事者の高齢化により町内の耕地も荒廃していることから、農地の保全に向けた委員の役割と責任を果たしていただくことを期待するものです。

以上で行政報告を終わります。

それでは、本定例会にご提案させていただいた議案につきまして、提案理由の説明をさせていただきます。

お手元の議案集にありますように、本定例会への提出議案は条例議案8件、過疎計画の変更が1件、補正予算案9件、25年度当初予算案10件の28件であります。

議案集の1ページをお開きください。

議案第1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定につきましては、新型インフルエンザ等対策特別措置法によりまして、本町においても、新型インフルエンザ等対策本部に関し、必要な事項を定める必要があるためです。

続いて、議案第2号から議案第4号までは一括法によります条例の制定になります。

議案第2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定につきましては、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行により、道路法の一部改正に伴い、本町においても、町道における構造の技術的基準に係る条例を制定する必要性が生じたためであります。

議案第3号 南部町道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定については、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による道路法の一部改正に伴い、本町においても、町道に設ける標識の寸法に係る条例を制定する必要性が生じたためであります。

続いて、議案第4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定については、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による河川法の一部改正に伴い、本町においても、河川における構造の技術的基準に係る条例を制定する必要性が生じたためであります。

次に、議案第5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。地方自治法の一部改正に伴い、本議会においても公聴会の開催及び参考人の招致ができることとされたことから、本条例の一部を改正する必要性が生じたためであります。

続いて、議案第6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定についてですが、「経済社会の構造変化に対応した税制に構築を図るための地方税法及び地方法人税等に関する暫定措置法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要性が生じたためであります。

次に、議案第7号 南部町学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてですが、学校給食共同調理場の統合に伴い、本条例の一部を改正する必要性が生じたためであります。

次に、議案第8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定についてですが、高齢者の福祉サービスの向上と自立支援及び家族の負担軽減を図るため、利用者

定員を増員することに伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたためであります。

次に、議案第9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更についてであります。南部町過疎地域自立促進計画の変更については、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項の規定により、議会の議決を得る必要があるためであります。

以上で条例案につきましては、説明を終わらせていただきます。

引き続き、予算案につきまして、提案理由の説明をさせていただきます。

議案第10号から議案第18号までの補正予算9件であります。

最初に、議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算であります。歳入歳出それぞれ2億4,422万5千円を追加して、歳入歳出予算の総額を6億2,648万2千円とするものであります。

主な財源は、町税、地方交付税、国庫支出金及び繰越金の増額分、4億8,612万円であります。また、町債の2億6,900万円の減額であります。

歳出につきましては、全体的に経費の節減や事業の確定による不用額等の減額調整予算となっております。

主な歳出は、塵芥処理費2,990万円、学校給食共同調理場統合整備事業費696万2千円、災害復旧費2,830万9千円の減額と、剰余財源で財政調整基金と減債基金に3億1,360万円を積み立てます。

また、今回、緊急経済対策を柱とする国の平成24年度大型補正予算による事業費の増額分として、木造住宅耐震改修事業、中山間地域総合整備事業、町道舗装修繕事業及び道路ストックの総点検等の事業費7,110万円を計上しましたが、年度内の完成ができませんので、翌年度へ繰り越しをして事業を進めるため、繰越明許費を設定してあります。

次に、議案第11号 平成24年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算から、議案第18号 平成24年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計補正予算までの8特別会計につきましても、それぞれ年度末にあたり、各事業費を精査し、予算の調整によりまして、増減をするものであります。

続きまして、議案第19号から議案第28号までの当初予算10件であります。最初に議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ5億2,600万円あります。

前年度比マイナス2.8%、額にしまして1億4,900万円の減額となります。

主な歳入ですが、町税の8億9,574万4千円、地方交付税2億6,600万1千円、国・県支出金4億6,47万3千円、繰越金2億円等あります。

なお、町債発行額は5億7,040万円で、その内訳は過疎債2億6,800万円、合併特別債9,670万円、臨時財政対策費2億円が主なものであります。

次に、主な歳出ですが、本年度の新規事業としまして、旧万沢中学校跡地に集合住宅を建設する地域活性化推進事業1億7,681万5千円を計上しました。

また、中部横断自動車道の中野インターチェンジ周辺を整備する交流促進施設整備事業費1億1,80万8千円、災害に強いまちづくりとして安心なまちづくり推進費1,122万4千円、中山間地域総合整備事業負担金3,325万円、耐震性貯水槽3基の設置工事費3,550万円、災害対策費に1,014万9千円を計上し、防災備蓄品等を計画しています。

続いて、議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算から、議案第28号

平成25年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計予算までの9特別会計につきましても、事務的経費及び行政執行に必要な経費を予算化して編成したものであります。

以上で私からの提案理由の説明を終わらせていただきますが、詳細な内容につきましては、担当課長より説明をさせますので、よろしくご審議をいただき、議決いただけますようお願い申し上げます。

○議長（萩原敬君）

町長の提案理由の説明が終わりました。

次に、担当課長の補足説明を求めます。

議案第1号について、望月福祉保健課長。

○福祉保健課長（望月政文君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第2号から議案第4号について、鈴木建設課長。

○建設課長（鈴木正規君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第5号について、若林総務課長。

○総務課長（若林正昭君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第6号について、青木税務課長。

○税務課長（青木司君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第7号について、若林学校教育課長。

○学校教育課長（若林治君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第8号について、近藤デイサービスセンター所長。

○デイサービスセンター所長（近藤勝君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第9号について、佐野企画課長。

○企画課長（佐野隆行君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

次に、議案第10号から議案第28号について、四條財政課長。

○財政課長（四條和彦君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

以上で担当課長の補足説明を終わります。

ここで暫時休憩をしたいと思います。

11時15分から再開したいと思います。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時15分

○議長（萩原敬君）

再開いたします。

日程第6 提出議案に対する質疑を行います。

質疑は、議案第1号から議案第28号まで順次行います。

なお、本提出議案については、委員会審査を予定しておりますので、詳細な質疑は委員会審査でお願いいたします。

最初に、議案第1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について、質疑はありますか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第1号の質疑を終了いたします。

次に、議案第2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について、質疑はありますか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第2号の質疑を終了いたします。

次に、議案第3号 南部町道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について、質疑はありますか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第3号の質疑を終了いたします。

次に、議案第4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について、質疑はありますか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第4号の質疑を終了いたします。

次に、議案第5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありますか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第5号の質疑を終了いたします。

次に、議案第6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありますか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第6号の質疑を終了いたします。

次に、議案第7号 南部町学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第7号の質疑を終了いたします。

次に、議案第8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

6番、旗持議員。

○6番議員（旗持雅君）

この内容についての意見ではありませんが、デイサービス業務は高齢者の福祉や支援ばかりではなくて、家族の負担を軽減するという意味からも大きな効果があると思います。

その意味では定員を増やして、行政として利用者のサービス向上を図るということは、大変いいことだと思っておりますが、2点ほど質問します。

1点目は要介護・要支援の認定者の数、またそのうち、介護度が高くて、利用したくても家で寝たきりで利用できないという人がいると思いますが、この数を把握してしましたら、教えてもらいたいと思います。

把握していなかったら結構です。そしてまた今、データの持ち合わせがないということであれば、あとで結構です。

2点目ですが、現在、町内には公設と民営を合わせて、デイサービス業務の施設が6カ所ほどあると思います。

公設と民営では利用者の個人負担の額も違うと思いますが、今回の改定について、民間施設への配慮については、公設を管理する管理者の立場として、基本的にどのような考えを持っていますか。この点について、お伺いしたいと思います。

公設と民間の施設がお互いに協力し合いながら補完をして、住民サービスの全体の向上を図っていくという、そういう姿勢が大事ではないかと思うわけですが、このへんの考え方について、お伺いします。

○議長（萩原敬君）

望月福祉保健課長。

○福祉保健課長（望月政文君）

お答えいたします。

高齢者の内訳ということではよろしいかと思いますが、常に当然、数字は動いておりますので、この数字から本日現在ということではございませんので、その点はご了解をいただきたいと思いますが、現状でいきますと、要支援1が75、要支援2が65、要介護1が98、要介護2が81、要介護3が71、要介護4が78、要介護5が95であります。

○6番議員（旗持雅君）

公設、民営を充実させるということになると、町内に民営の施設がありますよね。それとの業務が、ある意味だと競合するというような部分があると思いますが、その中で民間施設に対

するしん酌といえますか、配慮といえますか、そこはどのようなふうを考えているのか。

そして運営については、民営と公設が、お互いに補完をしながら協力していく中で、町内の高齢者の福祉サービスを全体として向上させていくという基本姿勢が大事ではないかなと考えているという意味で、公設の管理者として、このへんについて、基本的にどのような考えを持っているのか、お伺いしたいという質問です。

○福祉保健課長（望月政文君）

それではお答えいたします。

公設、それから民営と、それぞれ町の地域福祉を支えていただいているわけでありまして、介護保険制度が円滑に進むのも、それぞれの施設があるからであります。

今まで、位置付けとしましては、富沢デイサービスセンターにつきましては、介護保険制度以前からあった施設でありまして、地域の介護を高めていくために努めてきました。

介護施設につきましては、できるだけ介護度が高い方をお客さんにしたいというところは、当然費用的な収入が増えますので、実際のところ施設にはそれぞれあります。

その一方で、要支援1・2につきましては、費用的には低いものですから、その部分について、かなり町の公的なデイサービスセンター等で補ってきたというところがございます。

ただ、そのへんも利用者が要支援1・2で利用を始めて、いずれは介護度が上がっていくこととなりますので、今は逆に富沢デイのほうについては、介護度が高い方がかなり増えてきているということがありますが、いずれにしても、議員ご指摘のとおり、協調を取りながら、地域の福祉を支えていきたいと考えております。

以上であります。

○議長（萩原敬君）

ほかにありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第8号の質疑を終了いたします。

次に、議案第9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更について、質疑はありませんか。

9番、堀之内議員。

○9番議員（堀之内可和君）

先ほどの説明の中で、22年度から27年度ということで、過疎計画が受理されるということですが、今回の変更につきましては、とりあえず過疎計画の自立促進ですか、この事業の中へ組み込まれていないと、過疎対策事業の事業債、起債が受けられないという意味で変更しているということだと思いますが、そのへんの説明と、それから何か大きな事業があった場合に、毎年変更をしていけるのかどうか、計画変更ですね、そのへんの説明をお願いします。

○議長（萩原敬君）

佐野企画課長。

○企画課長（佐野隆行君）

9番、堀之内議員の質問にお答えいたします。

おっしゃるとおり22年度から27年度までの間の計画ということで、もちろんそこに文言的にも計画的にも、載せられていることが過疎債充当の条件でありますので、今回、新規事業を載せさせていただきました。

ご質問の、今までそういう軽微な変更、例えば路線の延長、それから幅員の変更とか、各年次にまたがります事業も多いものですから、経費配分等、そのへんの変更については、軽微な変更ということで、県のほうでも報告はしてもらいますが、そのへんの協議はなくて結構ですということでもありますので、特に議会の承認もその都度経るということはなくて、今回のように新規事業が、特に最後の集落設備の事業、万沢中学校跡地の住宅の建築ということではありますが、これは計画の中の文言はとらえられておりましたが、計画表の中には全く存在していない計画であります。

そのほかの町道・水道事業、景観関係事業については、計画表はもちろんありまして、今までも何本も計画は載せられておりましたが、あと残り3年の計画を見据えて、今回追加ということになります。

それで新規事業の追加に際しましては、県のほうでも軽微な変更等は認められませんので、きっちりとした変更計画協議をした上で、議会の議決を経るということで指導がありましたので、今回の提案とさせていただきます。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑はございませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第9号の質疑を終了いたします。

次に、補正予算の質疑を行います。

平成24年度南部町一般会計補正予算書をご用意ください。

まず、議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）歳入すべてについて、11ページから20ページまで、質疑はありませんか。

7番、鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

11ページの法人税の現年課税分の880万円の減額ですが、このへんの状況につきまして、ちょっと説明をしていただきたいと思います。

企業の減少とかそういったことが、たぶん出てくるのではないかと思います。

○議長（萩原敬君）

青木税務課長。

○税務課長（青木司君）

それではご質問にお答えいたします。

法人税の減収であります。景気の低迷による法人税の減収をある程度想定しまして、今年度の予算を23年度実績に対し、8%の減収として計上しましたが、これほどの減収を想定できなかつたため、今回の減額補正となりました。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑ありませんか。

9番、堀之内議員。

○9番議員（堀之内可和君）

12ページであります、10款の地方交付税につきまして、普通交付税と特別交付税の内訳を教えてください。

それから、もう1点については、特別交付税については、12月までの決定分を上げてあるという話ですが、3月現在、まだ確定していないということですが、昨年を見ながら見込みがどの程度あるか、それからあとの留保分をどういう形で持っていくか、そのへんの話をお願いします。

○議長（萩原敬君）

四條財政課長。

○財政課長（四條和彦君）

堀之内議員さんの質問にお答えしたいと思います。

補正の関係で普通交付税の未計上分ということで、1億2,706万9千円を見込んだわけですが、最終的に決定分ということで、28億3,706万9千円、これが普通交付税の決定分でございます。

それから、特別交付税につきましては、毎年3月の末になるということで、現在のところ、いくら来るか分かりませんが、先ほどご説明させていただきましたように、一応12月までの交付分ということで、4,143万7千円を今回計上いたしました。

昨年の特別交付税につきましては、3億7,474万3千円が全体的に来ていますが、最終的にはこの額がどういうふうになるかということが分かりませんが、去年並みでもしいくとなれば、3億円くらいは留保財源になると。

これについては、来年度の繰越財源としてとっておきたいという考えでございます。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑はございませんか。

7番、鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

14ページの民生費の国庫負担金の児童手当負担金でございますが、これは先ほど説明がありましたとおり、子ども手当から児童手当という名称変更等があつて、たぶん対象者もこれによって、若干なりとも変わってきていると思いますが、このへんのことについて、ちょっとお願いします。

○議長（萩原敬君）

田村課長。

○子育て支援課長（田村秋人君）

7番、鍋田議員のご質問にお答えいたします。

子ども手当の名称が変わりまして、今回、児童手当となりました。

支給対象者ですが、当初558人に対しまして、1月時で534人、24人が減りました。支給対象の当初延べ人数でございますが、8,980人を見込みましたが、1月時で8,769人、211人の減ということで、今回、その分が減ったものであります。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑はございませんか。

6番、箕持議員。

○6番議員（箕持雅君）

8ページの地方債補正についてですが、過年度発生補助災害復旧費についてですが、これは査定があって、これをもとに工事をしてということだと思いますが、減額の補正の理由は、先ほどの提案の説明の中にあっただのかもしれませんが、ちょっと聞き漏らしたという点で、この理由は何ですかということが1点目の質問です。

2点目ですが、同じく8ページの地方債補正ですが、臨時財政対策債をゼロに補正して、反対に道路整備事業補正が1億1,900万円ですか増額補正になっていますが、この臨時財政対策債は20年とか年数がかかるにしても全額国で補てんしてくれるから、これを使わなくても補てんしてもらえるとということで使わなくて、債権を発行して、過疎債ですか合併特例債ですか、債権を増やして1億1,900万円に増額すれば、7割程度は国から補填されるから、このほうが全体として有利だからというように思っていますが、この考え方はこれで間違いないでしょうか。

その2点について、お願いします。

○議長（萩原敬君）

四條財政課長。

○財政課長（四條和彦君）

6番、箕持議員さんのご質問にお答えしたいと思います。

補正の関係で、災害復旧の関係が減っているわけですが、過年度につきましては、2,310万円の減額。

それから現年発生の方の災害が350万円の減額ということで、先ほどもちょっとお話をさせていただいたと思いますが、過年度につきましては、平成23年9月の台風12号、15号で被災した町道の路線の関係が決まりましたので、その分の減額。

それからもう一つ、現年発生の方につきましては、平成24年9月の台風17号で被災した水路と、6月の台風4号で被災した林道8路線、それと平成24年7月の豪雨で被災した町道1路線の額が確定した関係で、この分の減額補正をしているところでございます。

それで道路整備事業の関係ですが、これについては、対象全部で270万円の増額ということで、その内訳は、過疎のハード事業の分が530万円減って、公共事業用等債で800万円増えているという形で、ここにあります1億1,900万円が増えているということではございません。

あと、臨時財政対策債の関係であります。臨時財政対策債につきましては、先ほどもお話をさせていただきましたように、これを借りられなくても、理論算定という形で額が出て、それについて20年間、地方交付税に算入されてきます。

そのことから、できるのであれば、この額を借りないでいければ、後年度に、町債の負担といたしますか公債費もかからないということで、今年度、減額をしたということでございます。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑はありませんか。

4番、望月議員。

○4番議員（望月藤一君）

15ページ、14款国庫補助金の7目総務費国庫補助金に、地域の元気臨時交付金というこ

とで支給されていますが、このへんの内容について、どのような形で使うのか。

○議長（萩原敬君）

鈴木建設課長。

○建設課長（鈴木正規君）

4番、望月議員さんのご質問にお答えいたします。

地域の元気臨時交付金について説明させていただきます。

これにつきましては、今回の国の緊急経済対策で地域の元気臨時交付金が創設されました。町で行う道路維持修繕事業ならびに、道路のストック総点検という名称で行う道路の点検等の交付金事業について、その事業費に対する交付金の割合は65%ですが、残りの町負担の8割にこの臨時交付金を充当しますので、その分を計上させていただきました。

事業につきましては、町道の楮根南部線の維持修繕工事と、そして道路のストック総点検として、橋梁点検、舗装点検、法面・盛り土擁壁などの点検、そして道路の附属物の点検と、その4つぐらいを合わせたメニューで、その財源に充てるということです。

以上でございます。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、歳出について、第1款議会費から第3款民生費までについて、21ページから30ページの上段まで、質疑はありませんか。

8番、木内議員。

○8番議員（木内利明君）

23ページで9目の安心なまちづくり推進費の中の負担金補助及び交付金であります。

これは地震対策ということで、佐野町長も重要政策の1つとして、何とかやり遂げたいという意気込みがありました。

しかし、ここで見ると、これだけの、242万円が減額されるということでありまして、そして一番お聞きしたいのは、こうなった数字の背景には、どのようなことがあったのか。恐らくこれを考えて、25年度の予算も編成したと思いますが、その点についてどう考えているか。その説明をしていただきたいと思えます。

○議長（萩原敬君）

交通防災課長。

○交通防災課長（望月一弥君）

ただいまの木内議員のご質問にお答えいたします。

3月補正で3項目に対しまして、242万円の減額になっておりますが、まず1点目、木造住宅耐震改修事業費の補助金でございますが、当初3件、見込んでおりました。

今年度末までの実績数として1です。

耐震シェルターの設置事業費補助金、これもやはり当初3台分を予定しておりましたが、これにつきましては、実績がございませんでした。

3点目の木造住宅耐震改修設計事業費の補助金でございますが、これは最初に申し上げました、耐震住宅改修事業費とのセット事業になりますが、これがやはり3件望んでおりましたが、

実績1ということですが。

この減額の理由ということですが、町としましては、県とともに、まず耐震診断の普及ということで、ローラー作戦、あるいは町の広報誌等を使いながら周知をしておりますが、なかなかやはり実績が上がってこないのが実情であります。

これは全県的に同じようなことがいえるわけですが、まずその耐震診断の実績が上がらない理由の1つには、私ども実際に町内を歩いてみて町民と接する中で、家の中に入られるのがまず嫌だと、そんな事実があることも実際です。

その内容も、町民の方に今の防災・減災対策の1つということでご説明をするのですが、なかなか進捗が上がってこないということが現状です。

先ほどの地域の元気交付金がありましたが、それが今年度の3月補正分として国のほうから交付されるわけですが、若干その上乘せ分がございまして、今年度、改修工事まで踏み切れたのが1件ございました。

この説明書きの耐震シェルターにつきましては、やはり実績が上がらず、0件ということですが、この内容を考えてみますと、住宅の基礎から、床をめくったりということが出てきます。

また、補助はございますが、補助対象外の分を自己負担しなければならないということで、そのシェルターにもいくつか種別はございますが、自己負担分がかなり多くなっていくということがございますので、なかなか実績としては上がってこないのが実情です。

また過日、山梨県の説明会等がございまして、このシェルターの設営の補助金についても、このような、今、本町における課題とされている点等もお話をしてまいりました。

ですから、ぜひ補助金を町民が使いやすい、自己負担がないような額に上げていただきたいということは、強く申し上げてきました。

そんなことが事実でございまして、今回の実績に伴います、242万円の減額になるのが実情でございます。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

次に、第4款衛生費から最後の第10款災害復旧費までについて、30ページ中段から42ページまで、質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第10号の質疑を終了いたします。

次に、平成24年度南部町特別会計補正予算書をご用意ください。

議案第11号 平成24年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について、7ページから10ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

7番、鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

7ページの県道改良工事の補償金がマイナスとなって、先ほど説明の中で、事業が遅れていてできなかったということですが、これはまた、改めて県ではその仕事をして、町に補償金が

入るような話になるわけでしょうか。

○議長（萩原敬君）

長坂水道課長。

○水道課長（長坂正志君）

7番、鍋田議員のご質問にお答えします。

今の関係につきましては、県道の、下井出のところと、ここにある道の駅の間のところの県道改良でございます。県道改良が24年度執行されませんでしたので、この予算につきましては県の報告の中で、25年度に予算化されるということです。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第11号の質疑を終了いたします。

次に、議案第12号 平成24年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第3号）について、15ページから17ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第12号の質疑を終了いたします。

次に、議案第13号 平成24年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、はじめに事業勘定について、27ページから36ページまで、歳入歳出一括で質疑ありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、直営南部診療施設勘定及び直営万沢診療施設勘定について、39ページから41ページまで及び45ページから47ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第13号の質疑を終了いたします。

次に、議案第14号 平成24年度南部町介護保険特別会計補正予算（第3号）、53ページから57ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第14号の質疑を終了いたします。

次に、議案第15号 平成24年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）、63ページから66ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第15号の質疑を終了いたします。

次に、議案第16号 平成24年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）、71ページから73ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第16号の質疑を終了いたします。

次に、議案第17号 平成24年度南部町大城平外2山恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第17号の質疑を終了いたします。

次に、議案第18号 平成24年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)、87ページから89ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第18号の質疑を終了いたします。

それでは暫時休憩いたします。

再開は午後1時からといたします。

休憩 午後12時06分

再開 午後 1時00分

○議長(萩原敬君)

それでは再開いたします。なお、教育長につきましては、午後、教職員の人事があるということで席を外しておりますので、ご承知おき願いたいと思います。

それでは次に、当初予算の質疑を行います。

平成25年度南部町一般会計予算書をご用意ください。

議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算について、歳入の第1款町税から第13款使用料及び手数料まで、13ページから19ページ下段まで、質疑はありませんか。

10番、佐野議員。

○10番議員(佐野哲也君)

町税の法人について、ちょっとお伺いしますが、だいぶ減額されていますが、この減額は法人の減少だけなのか。また、法人が現在、南部町に何社ぐらいありますか。そのへんを教えてくださいたいと思います。

○議長(萩原敬君)

青木税務課長。

○税務課長(青木司君)

それでは佐野議員のご質問にお答えいたします。

法人税の減額であります。業績の低迷と法人実効税率の引き下げによる影響を勘案しまして、前年度比21%減の約1千万円減額での計上をしました。

それから法人数は168であります。

○議長(萩原敬君)

ほかにありますか。

5番、望月議員。

○5番議員（望月將名君）

16ページの10款地方交付税の減額が2,400万円ですか。こういった地方交付税が国の予算でも6千億円減らすという方針を取っております。

その中で、また公務員の人件費の削減等を国が行っているわけですが、それで先ほどの説明もありましたが、地方交付税がどんどん下がっていくということで、町の財政も大変なことだと思いますが、その中で特に町長がこういうことに関して、今からこういうものが減っていくことに関して、どういう考えを持って、予算的に減らしていくものか。

それと、あと総務費の中に職員の給与等予算に出ていますが、その中で臨時職員の賃金とか別に分かれています。こういった地方交付税の減収によるやり方として、やはり職員の減給というか、そういうことも重要なことではありますが、町民がどんどん減っていく中で職員の削減等も考えるような考え方があるのか。

また、臨時職員の今現在の数、そのほかの草刈りの職人さんとか、それはいいとしても、その臨時職員の数と臨時職員の年齢が分かったら教えていただきたいと思います。

○議長（萩原敬君）

ちょっと歳出にも絡んでいるところがあるわけですが、そこを整理しながら、回答を。
財政課長。

○財政課長（四條和彦君）

5番議員さんのご質問について、先に交付税の関係等で財政面について、ご説明をさせていただきます。

今回の地方交付税につきましては、2,400万円の減額ということですが、先ほどもお話しさせていただきましたように、まず留保財源があるということの中で今回、組ませていただきました。

予算編成を行うにあたりましては、予算の半分以上が地方交付税であるということですから、その額によりまして、町の予算規模が変わってくるということになります。

実は昨日、政府が平成25年度の地方財政計画を国会に提出したところであります。今日の新聞等にも載っていますが、それで25年度地方交付税につきましては、先ほど議員さんもおっしゃいましたとおり、国の予算ベースは出口ベースで、今年度は1兆7千6百24億円ということになります。

その中で、地方公務員の給与を7月からカットするという、するだろうということの中で、8,504億円を、地方交付税で削減しています。

しかしながら、その額をいっぺんに減らすと、各地方も厳しくなるということで、防災地域活性化事業という形で8,523億円を、今年度だけ特例的に増額をしているということでもあります。

そうしますと、全体的には若干減っているわけですが、町に来るのは昨年度とほぼ同等になるのではないかという見込みをしているわけでもあります。

それで、本来であれば、いつも1月末に普通は国会を通過して、県のほうで財政課長を呼んで説明会をするわけですが、これがまだ通っていないということで行われていませんが、この地方財政計画の概要が出たところで、県のほうでも各市町村の試算をいたしました。

それが先ほど言いました28億500万円になるということで、この額でいきますと、昨年が28億3,700万円ほどでありますので、3千数百万円ぐらいが昨年より減ってくるわけ

ですが、いよいよ合併算定替えて約5億円弱が段階的に減ってくるということになりますが、その初めの年が25年度になります。25年度は交付税が1割減るという、それが大体4,800万円ほどということで、今、試算が来ております。

ですから、昨年と比較すると、今のところ県の試算では約3千万円から4千万円が減ってくるだろうということでもあります。

ただ、交付税につきましては、試算を全部したところで、財政のほうで出してありますので、7月にならないとその額が確定しないものですから、今現在、その数字がはっきり示せませんが、7月中にはその数字が固まってくるだろうということでございます。

それから、今後、金額が減っていく中で、どのように町は考えているのかというご質問であります。これは30年までの間に、4,800万円ぐらいで1割分であると、4億8千万円ぐらいが段階的に減ってくるのではないかと思います。そういう中で今町は、先ほど補正予算のところでもご説明をさせていただきましたが、臨財債の関係の借り入れをしない、そうすれば、起債の関係のところ減ってくる。

それと同時に、積み増しを3億円いたしました。昨年度も積み増しをいたしまして、今年度中に3億1,300万円ほどの減債基金を取り崩して、元利償還をして公債費を減らそうと思っております。

それで今回は、3億円の積み足しをしました。それで、できれば25年度中に、1本大きな4億円ほどの臨財債がありますので、これにしますと、5千万円ほど1年間で元金を返すということになりますので、できるときにそういうものをして、後年度に負担をかけないようにしていこうということで考えております。

財政面につきましては、以上でございます。

○議長（萩原敬君）

交付税について回答がありました。

臨時職員の関係については、あとで総務課長が歳出のときに答えるということで、よろしいでしょうか。

（はい。の声）

ほかにもございませんか。

5番、望月議員。

○5番議員（望月將名君）

今、財政課長の今後の試算についての説明がありまして、一応、なるほどとは思っているのですが、やはりこれは、地方交付税は今から恐らく増えることはないと思いますし、その中で我が町もそういった対策をどんどん講じていかなければならないと思いますので、そのへんは町長、よく今後の経済情勢も考えながら、予算を組んでいただきたいと思います。

よろしく願います。

○議長（萩原敬君）

町長。

○町長（佐野和広君）

それに関連しまして、今、財政課長のほうからいろいろな説明がありました。

当然、私と今後のことを話し合いながら、町政運営をやっているわけですが、先ほど法人税というお話がありました。

実際に私も見て、法人税の少なさに、これはまいつているところなんです。そして今、企業は元気がありませんから。

先ほどちょっと私の最初の総括の話の中で、前高知県知事の橋本大二郎氏の話がありましたが、何しろ今は企業よりも人を何とかしなさいと。そういう変換をしていけば、それはもう確かに住民税等が入りますから、そういったところをベースにしながら、やっぱり町政運営したほうが良いような話をされました。

それともう一つは、私も何回も言うんですが、こういう緊縮財政の中ですから、かといって、やっぱり町政を運営しなければいけませんから、いろいろな意見を聞きながら、メリハリを付けた形の中で、町政運営を行っていきたいと、そんな考えでおります。

以上です。

○5番議員（望月將名君）

期待しております。

○議長（萩原敬君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

（ な し ）

次に14款国庫支出金から第21款町債まで、19ページ下段から30ページまで、質疑はありませんか。

鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

国庫負担金と、それから県補助にかかることですが、新たに始まったと思われまして19ページの障害児施設給付費等負担金、これについてちょっと説明をお願いします。

○議長（萩原敬君）

福祉保健課長。

○福祉保健課長（望月政文君）

7番、鍋田議員のご質問にお答えいたします。

これにつきましては、障害児が施設を利用する場合、いろいろな施設がございますが、そこに対して給付をするということでございまして、この近くですと、かじか寮等の施設の利用がありますし、遠いところであれば、きぼうの家とかひかりの家とか、そういった施設がございます。

そういったところの利用に当たります。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

7番、鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

20ページの土木費の補助金の関係で、2節の社会資本整備事業の補助で、橋梁の長寿命化が昨年も出まして、今年度は昨年よりちょっと増えていますし、15メートル以上を去年はしたと思いますが、そのへんについて、ちょっとお願いします。

○議長（萩原敬君）

建設課長。

○建設課長（鈴木正規君）

7番、鍋田議員さんの質問にお答えいたします。

橋梁長寿命化修繕策定計画事業費補助金でございますが、24年度に計画し点検した箇所40橋について、計画いたします。

それともう1つ、15メートル以上の、1年前に計画いたしましたものにつきまして、橋梁の補修の設計を今年度3橋、入れていきたいと思っております。

そして、あと道路改良事業費補助金ということで、今年度1路線、測量設計、用地の関係について行っていきます。

以上でございます。

○議長（萩原敬君）

ほかにはございませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に歳出に移りたいと思っております。

第1款議会費から第2款総務費までについて、31ページから51ページ中段まで。

総務課長、先ほどの回答を。

○総務課長（若林正昭君）

先ほどの5番、望月議員さんのご質問にお答えしたいと思います。

先ほど3点ほどあったわけですが、まず臨時職員の人数ですが、平成25年度につきましては、67名としております。昨年24年度当初が73名でしたので、6名ほどの減という形になります。

なお、この67名につきましては、パート、あるいは非常勤の方もすべてのカウントをかけた人員であります。

それから年齢ですが、平均的な年齢というのは、ちょっと総務課のほうでは出しておりません。若い方ですと21歳から、上の方は68歳、25年度時点では、この方たちを雇用した形になっております。

それからもう1点、職員の削減の方向についてというお話でございますが、南部町には平成22年度のときに改訂版として、南部町の定員適正化計画というものを策定してあります。これは第2期という形で策定されているわけですが、平成25年度の職員数は計上予算でいきますと、140名ということでしております。

そこで、適正化計画については、平成22年から平成27年までの計画ということになっておりまして、計画上の数値で申し上げますと、計画上は平成22年が149人であったものを、平成27年時点で131名にという計画内容になっております。

平成25年にあつては、総数を144名という計画内容になっています。計画に基づく比較をしますと、現在140名ですので、4名の減という形になっております。

今後、やはり適正化計画に基づいた判断の中で、職員については採用するなどの計画をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

9番、堀之内議員。

○9番議員（堀之内可和君）

総務の給与関係であります、国の指導によりまして、国の職員が時限立法で2年間ですか、7.8%の給与の減額を受けているという中で、町のほうでも給与の減額をとということで、強い指導が国から来ているのではないかと思います、ただ私も町の職員をやっていたので分かりますが、国では地方が低いときには何も言わない。

ある程度、国で抑えて、地方が多少良くなったから、こういうことを言うてくる。何かちょっとつじつまが合わないような気がします、このへんのラスパイレス指数との関係もあると思えますが、大概の市町村は国で示されているというか、国家公務員との給与の比較をすると、ラスパイレスは国より低いということで、時限立法で7.8%国が抑えたから、町のほうでは100%以上にいっているところがかかなり多いと、そのようなことだと思えますが、そのへんに対する総務課長の考え方を教えてください。

○議長（萩原敬君）

若林総務課長。

○総務課長（若林正昭君）

9番、堀之内議員のご質問にお答えをしたいと思います。

答えになるかどうか、ちょっと分かりませんが、議員のおっしゃった部分は国家公務員にかけます、今度の震災におけます特例措置の関係になると思えます。

当然、地方公務員給与の改定につながるということから、報道等でご承知のとおり、地方公務員給与が国家公務員の給与を上回っています。これはラスパイレス指数というものですが、総務大臣より地方自治体に対しまして、国に準じた必要な措置を講じなさいということで、要請が来ております。

地方における取り組みを速やかに行わなければならない状況にありますが、地方公務員の給与削減の実施につきましては、全国の知事会、あるいは全国町村会、また全国町村議会議長会など、全国で地方6団体があるわけですが、これが地方交付税の一律カットへつながるというやり方に、強く反発もしておるところです。

国は地方に対しまして、6月の議会で条例改正をして、7月から実施するよう強く求めておりまして、すでに閣議で公務員の給与改定に関する取扱いについてということで、国に速やかに準じて行うようという決定もされております。

条例の改正内容については、まだ詳細の分からない部分があるのですが、防災・減災・地域活性化といった日本再生のための取り組みの1つとしての決定事項ですので、町でも6月の改正ということでいこうという方針でおります。

具体的な目安になりますが、ラスパイレス指数と参考値という差が、国の給与減額支給措置によります総体的な給与水準の上昇の部分をとらえることから、この部分を引き下げる判断になると思えます。

参考で申し上げますと、国が特別措置法の中で減額支給措置を7.8%にしたことによる南部町のラスパイレス指数は101.1になります。100を超えた部分が上昇部分ということで、この部分への取り込み、要するに1.1になると思えますが、この部分について取り組む

という形になろうかと思えます。

引き下げの期間等についても、国で少し触れております。国家公務員の給与の減額支給期間が平成24年度4月から26年度3月末までについて行われていますので、これに準じた形ですが、町が行う場合には7月から平成26年3月末になるかと思えます。

なお、対象ですが、一般職ということで国はしていますが、実際の内容は対象が各自治体の議会などの判断として、特別職、それから議員、それから勤務体系や給与水準を考慮して、臨時・非常勤職員もその対象の範囲ということとされています。

地方交付税の職員給与減額については、25年度の交付税算定を財政課が試算することになっておりますので、当町の減額による影響額はまだ分かりません。

また分かり次第、そういったものを皆さまにお伝えできると考えております。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかに質疑はありませんか。

8番、木内議員。

○8番議員（木内利明君）

44ページの14目であります。地域活性化推進事業ということで、万沢中学跡地の住宅の建設に関するものであります。

これまで佐野町長は新聞でも発表したように、この住宅は単に住宅ではないよと。子育てを支援する住宅なんだよというフレーズの中で、各町村の人たちも大変注目しているところだと思います。

そして、ここでお聞きしたいのは、この住宅へ入居したい人たちに、どのようなコンセプトを持って提案していくのかということが、非常に大事だと思います。

来たけれども条件が違ったとか、そういうことがあってはならないから、この点について1点、町長としてこういう考え方を持ってこの住宅建設にあたりたいという、その話を1点していただきたいと思えます。

もう1点は、この工事をするにあたって、地元の、私も含めてですが、建築業者は非常に厳しい状況におかれておりますので、入札するときに地元の業者を使うような人たちを、率先して入札に入れていただきたいなと思っております。

この2つについては、町長にお願いしたいと思えます。

それからもう1点は、担当課の企画課長にお尋ねをしたいと思えます。

それは先日、平面図、それから側面図をもらって見ました。そのときに若干触れておけばよかったですが、ここで質問するのは、バルコニーが何で四角のものを、こういう三角にしてしまうのか。このことによって、バルコニーとしての機能を十分果たせない。

景観を考えて、恐らくしたと思えますが、入る人にとって、使いやすさということが一番ありますから、景観ばかりにこだわらないで、ここを三角にしたところで、何のメリットがあるのかということをお聞きしたいことがあるもので、こういうことがないように、四角にしたほうがそれなりの機能として使えるものですから、その点についてどのように考えているか。その点をお聞きしたいと思えます。

○議長（萩原敬君）

最初に佐野町長。

○町長（佐野和広君）

木内議員の質問にお答えいたします。

私も新聞で申し上げましたように、基本的には定住化構想ということですから、当然、お子さんたちのいる人たちを対象にやるわけですが、その条件等につきましては、今回、定住化構想委員会をやりますから、そこで14、15名の委員を予定しています。

その中で、各階層からの意見を聞きたいと。特に、中には女性を4人ほど今、考えております。と言いますのは、ここは静岡県との接点が多いですから、やっぱり静岡県の状況が分かる方、そういう人も入れて、その上でいろいろなところで判断していきたいなと思っています。

それからもう1点の業者の選定ですが、確かに今、非常に低迷しております。ただ、今回は一般競争入札になるかと思いますが、そのへんのことは、もう一度ちょっと煮詰めます。

それは地元の人にやっていただきたいんですが、それが果たしてそのとおりにできるかどうかという問題がありますので。

そのへんは十分、私も考えておりますから。

○議長（萩原敬君）

企画課長。

○企画課長（佐野隆行君）

木内議員のご質問にお答えいたします。

今回予定しております3DKなりの建物ですが、間取り等につきましては、プロの設計が提案してきたものを、この間、一部ご紹介をさせていただいたところです。

その中で採光について、明かりを取る面積、それからバルコニーの形状等について、ご意見をいただきました。

それは私のほうで早速、設計に連絡いたしまして、検討のし直し等お願いしまして、やり取りをしている最中ですので、前回の提案ではなくなる可能性が、長く使いやすい、それから採光面も増える形で今、進めておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

9番、堀之内議員。

○9番議員（堀之内可和君）

34ページであります。消防関係の経費削減という形の中で、近年ずっと県下一本化とか、そういう話がかかり出てきましたが、最近になって、どうもその話も頓挫しているということですが、そのへんの状況の話を多少してください。

○議長（萩原敬君）

交通防災課長。

○交通防災課長（望月一弥君）

ただいまの堀之内議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

山梨県消防広域化の県内一消防本部という構想に対するご質問かと思いますが、これまでの若干の経緯と、最終的な現段階におけるまとめという2点について、お答えをさせていただきます。

平成24年度末をめどに、県内一消防本部が望ましいということで、平成20年5月に山梨県消防広域化推進計画が策定されました。

県内全市町村を広域化対処市町村とした広域の実現化を目指し、山梨県消防広域化推進協議会が平成21年10月30日に設立されたと同時に、第1回目の協議会が開催されました。

以降、これまで協議会が平成24年11月20日を最後に計8回、幹事会が20回、専門部会が66回開催されております。

山梨県における消防の現状と課題を分析し、その上で広域化により期待できる効果と広域化に伴う諸課題を併せて協議してまいりました。

消防広域化将来構想を煮詰めた中で、一番の課題は消防職員の充足率、および職員の処遇、特に給料についていかに解決できるかでございます。

実際の協議内容においても、この問題に大半の時間を費やしていたのが現状でございます。

職員の充足率については、現状、県内10消防本部間には大きな格差があり、充足率が高い消防本部にとっては、このまま広域化することにより、現有の消防力が分散することに対する懸念が大きく、また一方、充足率が低い消防本部にとっては、充足率の高い消防本部に合わせるための多数の職員を採用しなければならない、大変大きな財政負担を強いられることとなります。

この両者の溝をいかに埋めるかが課題として、現在まで論議されてきたのが現状でございます。

特に、職員の処遇、給料についても、現状適用給料表、初任給決定額及び運用基準がそれぞれ異なっております。

また、その開きも大きく、しかし広域後は統一した組織になることから、適用給料表、初任給決定額及び運用基準は統一する必要がある、いかに統一するかが課題でございます。

しかし、職員の充足率及び職員の処遇、給料等について、長時間をかけて検討してまいりましたが、各消防本部間には現状では大きな格差があり、検討したいずれの手法も財政負担を伴う結果となるのが現状であります。

この2つの問題を解決する手法を見出すことが、山梨県の消防広域化を大きく前進させると考えるものでありますが、現時点では現状の財政負担額の範囲内で解決する手法は見出せなかった結果となりました。

よって、現状では県一消防本部体制の確立は困難な状況にあると言わざるを得ないという結論に達しまして、平成25年、今年度末3月31日をもって解散することで、第8回協議会で決定いたしました。

これが現在における状況でございます。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかにごございませんか。

7番、鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

45ページの23節国庫の返納金が大いようですが、説明をお願いします。

○議長（萩原敬君）

財政課長。

○財政課長（四條和彦君）

7番、鍋田議員さんのご質問ですが、これにつきましては、平成23年度、24年度と、光

の交付金3,040万円をいただきまして、図書館の蔵書、学校の蔵書、それから福祉関係で心の相談等の事業を進めてきました。

23年度に使いまして、今回24年度の分について、3月補正で基金を取り崩して、それに使うことになっているわけですが、そのところに減額が、使わなかった部分が出たということで、今回24年度の補正予算としてありますが、それで25年度のところで、最終的に今年度末での事業の完全の数字が出ますので、それを見たところで、その予算を国に返還する予算を計上したということでございます。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

（なし）

それでは次に移りたいと思います。

第3款民生費について、51ページ中段から70ページ上段まで、質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、第4款衛生費から第6款商工費まで、70ページから91ページまで、質疑ありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、第7款土木費、第8款消防費まで、92ページから100ページ中段まで、質疑ありませんか。

8番、木内議員。

○8番議員（木内利明君）

94ページ、3目の橋梁推進費、これは歳入でも触れたわけではありますが、私が一番気になっているのは、ボチボチやればいいやという話ではなくて、例えばいろいろな災害が発生したときには、橋がきちっとしていなかったら救援もいろいろなこともおぼつかないということで、できれば早く達成をしていっていただければありがたいと思いますが、先ほどの話だと今年度は3カ所をするという話ですよ。

で、ありますから、必要な件数は何件で、達成したのは何件ぐらい。これはこういうことで今後していきたいというようなことがあったら、説明していただきたいと思います。

○議長（萩原敬君）

鈴木建設課長。

○建設課長（鈴木正規君）

8番、木内議員さんのご質問にお答えいたします。

橋梁点検につきまして、説明させていただきます。

橋梁15メートル以上の30件につきましては、23年度で計画を終わりました。そして、5メートルから15メートルにつきましては、63橋を24年度に点検いたしまして、25年度に計画を実施いたします。

そして5メートル以上33橋につきましては、また別に25年度点検を実施いたします。

そして5メートル未満の57橋につきましては、職員で25年度に実施いたします。全部で183橋になります。

これは新年度早々に実施したいと思っております。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

5番、望月議員。

○5番議員（望月將名君）

95ページ、19節の急傾斜地崩壊対策事業の負担金ということですので、これは工事費に対する町の負担金だと思いますが、今これは何割でしたか。ちょっと教えてもらいたいのですが。

○議長（萩原敬君）

鈴木建設課長。

○建設課長（鈴木正規君）

5番、望月議員さんのご質問にお答えいたします。

急傾斜地の崩壊対策事業で負担金といたしまして、2,368万円でございます。現在、町内で10地区の個所につきまして、急傾斜地の崩壊対策事業ということで県で行っています。

負担金につきましては、5%と10%がございまして、それは保全となる対象に公共的なものがあるとか、県道があるとか、そういう形で5%と10%に分かれています。

以上でございます。

○議長（萩原敬君）

ほかにありますか。

9番、堀之内議員。

○9番議員（堀之内可和君）

92ページであります。19節負担金補助及び交付金の、国道469号建設促進期成同盟会負担金、その下の新々富士川橋建設促進期成同盟会負担金であります。これは毎年、町長および議長、建設課長等で静岡県側との一緒の協議会で、陳情しておりますが、このへんの動きというか、特に国道469号については、富士山を世界遺産にという動きの中で、富士山を取り巻く道路ですので、大変重要なことであるという、そんな話も出ております。

それから、新々富士川橋につきましては、富士川の左岸の住民が大変難しかったということですが、だいぶ軟化して協議もできるようになってきたようなことを聞いておりますが、そのへんの進捗状況というか、そんなことを若干お話し願いたいと思います。

○議長（萩原敬君）

鈴木建設課長。

○建設課長（鈴木正規君）

9番、堀之内議員さんのご質問にお答えいたしたいと思っております。

まず、469号でございますが、毎年、静岡・山梨県両チームで要望に行っているわけですが、現状としまして、大月線から東側のほうについては、かなり整備がされてきております。そして大月線から西側、万沢の52号までが469号ですが、そちらについて、一刻も早く路線決定をしていただきたいということで、両県へ要望に行っております。

そして新々富士川橋でございますが、雁堤の先で以前、反対同盟ということで、かなり難航していたわけですが、10年間ぐらいのいろいろな交渉の中で、今、ちょっと細かい資料を持っ

ていませんが、名前が反対同盟から対策協議会というような形に変わってきまして、測量などにつきましても、受け入れをしていただいたということで、これにつきましても、だいぶ進むような状況になってきております。

以上でございます。

○議長（萩原敬君）

町長。

○町長（佐野和広君）

ちょっと補足ですが、469号、これはなかなか大変長い間の懸案事項ですが、また今年も協議会がございます。

今までここ数年民主党政権でしたが、今度は自民党ということで、国土強靱化の中での話もありますから、別件で国会のほうに行きました折に、自民党の二階先生と事務所で話をしまして、あのあたりの地域、例えば小山町から御殿場地区はかなり話が利くということでした。

力のある方なので、ぜひそのへんを今度の会議の時に煮詰めていくといいますか、応援をしていただきたいということで、話をしようかと思っております。

それからもう1つ、新々富士川橋ですが、このように私の手元に新聞の切り抜きがあります。これは去年6月15日の静岡新聞ですが、その時点で昨年度、用地測量も完了しました。

そしてあとは本年度からということですから、昨年あたりから周辺道路の設計や用地交渉が進むということがありましたから、その後の状況は私ちょっと分かりませんが、また今年、近々この会合がありますから、そこでどこまでいくのか。

さらに、このへんは静岡の川勝知事も、相当力を入れてくれていきますから、そんなところで、また一緒になって、何とかお願いにいきたいなと思っております。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

（なし）

それでは次に移りたいと思います。

第9款教育費の教育総務費から南部中学校費までについて、100ページ中段から122ページ中段まで、質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、教育費の社会教育費から最終ページまで、122ページ中段から147ページまで、質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で議案第19号の質疑を終了いたします。

次に、平成25年度南部町特別会計予算書をご用意ください。

議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算について、7ページから19ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

7番、鍋田議員。

○7番議員（鍋田幹雄君）

歳出で、9ページの負担金補助及び交付金の関係で、峡南広域計算センターの負担金が去年

よりだいぶ多くなっております。ちょっと説明をお願いしたいと思います。

峡南広域計算センター負担金が昨年61万4千円のもの、今年が253万1千円となっていますので、説明を。

○議長（萩原敬君）

長坂水道環境課長。

○水道環境課長（長坂正志君）

7番、鍋田議員のご質問でございます。

峡南広域センターの負担金でございますが、これにつきましては、峡南広域センターの、料金の業務システムパッケージの移行に伴いまして、上下水道調整システムパッケージも移行することになりました。

今までは計算センターの職員が行っておりましたが、今後、専門的知識と開発にかかる時間等を確保することが難しいということで、コスト削減の面も合わせて、4町でこの共同パッケージへ加入することになり、その負担金でございます。

以上です。

○議長（萩原敬君）

ほかにございませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で議案第20号の質疑を終了いたします。

次に、議案第21号 平成25年度南部町指定居宅サービス特別会計予算について、27ページから36ページまで、質疑はございませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で議案第21号の質疑を終了いたします。

次に、議案第22号 平成25年度南部町国民健康保険特別会計予算について、はじめに事業勘定について、45ページから68ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

次に、直営南部診療施設勘定について、73ページから88ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、直営万沢診療施設勘定について、93ページから105ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で議案第22号の質疑を終了いたします。

次に、議案第23号 平成25年度南部町介護保険特別会計予算について、115ページから135ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で議案第23号の質疑を終了いたします。

次に、議案第24号 平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算について、143ページから152ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で議案第24号の質疑を終了いたします。

次に、議案第25号 平成25年度南部町睦合財産区特別会計予算について、159ページから161ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で議案第25号の質疑を終了いたします。

次に、議案第26号 平成25年度南部町富沢財産区特別会計予算について、169ページから172ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で議案第26号の質疑を終了いたします。

次に、議案第27号 平成25年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計予算について、179ページから181ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で議案第27号の質疑を終了いたします。

次に、議案第28号 平成25年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計予算について、189ページから191ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で議案第28号の質疑を終了いたします。

以上で、議案第1号から議案第28号までの質疑を終結いたします。

○議長(萩原敬君)

日程第7 提出議案の委員会付託を行います。

お手元に配布のとおり、各常任委員会へ提出議案を付託いたします。

それでは暫時休憩をしたいと思います。

2時15分から再開いたします。

休憩 午後 2時00分

再開 午後 2時15分

○議長(萩原敬君)

それでは、再開いたします。

○議長（萩原敬君）

日程第8 一般質問を行います。

一般質問は、通告書の1つの質問事項ごとに、質問と回答を終了し、次の質問事項に進む、一問一答方式です。

1人の一般質問の持ち時間は、質問と回答の時間を含め40分間です。

また、同一の質問事項についての再質問は、従前のおり2回までですので、よろしく願いいたします。

なお、残り時間は前方の右壁に表示されますので、十分ご注意ください。

時間が経過した場合は、議長が一般質問を打ち切りますので、申し添えます。

最初に3番、森田議員の質問を許します。

森田守議員の質問は2問あります。

まず、1番目の質問を求めます。

3番、森田守議員。

○3番議員（森田守君）

私は2つの質問をしたいと思いますが、なにぶんにも一般質問は今日が初舞台でございますので、よろしく願いしたいと思います。

まず、町内商工業の振興について、お伺いいたします。

地域の活性化や賑わいの創出は、そのまま地域の商工業の活性化につながっていると思います。

町内の商店の並ぶ通りを歩いてみましても、人影があまり見られない。ことに夜間は一層人通りが少なく、昔のような活気が感じられなくなっているところでは。

これは近年、少子化等人口の減少や、長引く景気の低迷などの影響や、店舗の廃業などが考えられますが、これに対応する地域の総合経済団体としての、商工会の果たす役割は重大であります。

町の商工業の総合的な改善発展のために行われる、商工会の事業活動の効果的推進を図るためには、町の商工行政との緊密な連携が不可欠であります。

本来、地域の振興事業は、町が中心となって推し進めていくべきものと思いますが、現実には地域経済を担っているのは地域の商工業者であり、その地域商工業の指導団体である商工会が町に積極的に働き掛けて、その実効を上げていくことは重要なことです。

言うまでもありませんが、町においても、商工会においても、その立場こそ異なるものの、地域商工業の振興・発展を図り、住民福祉の向上に寄与することでは、共通の目的を持っているわけであります。

このような状況の中で、町からは商工会に対し、商工業振興にかかる各種補助金を交付しており、商工会も実績の向上に努力を重ねているところでもあります。

町から指定管理を受けた、道の駅とみざわの経営につきましても、営業努力もあって収益を上げ、一定の割合での町への納入金、また法人町民税や事業税、消費税等を納め、町にとっても商工会にとっても効果を上げている制度であります。

さて、一口に地域商工業の振興・活性化と言いましても、これは至難の技であります。地域商工業の不振ともいえる状況は、本町に限らず全国的な問題でもあり、町商工会、さらに県商工会連合会においても、深刻な悩みでもあります。

そこで、少しでもこの状態を回避するには、どのような対策が考えられるかお伺いいたします。

私は、町の発注する物品等の地元商工業者利用の促進があると思います。建設工事等は特殊なもの以外は当然、町内の事業者が発注されているところです。物品等につきましても、多くは町内の商工業者が発注されているものと認識していますが、さらに納品等が可能なものがあれば発注できないでしょうか。

もちろん納入単価等、予算的な実情もあると思いますが、地元商工業者の所得になれば、先ほど申し上げましたが、町民税や法人町民税、事業税、消費税などの税収増につながり、結果として町に返ってくるのではないのでしょうか。

地元商工業者の利用促進については、商工会において常にアピールしているところではありますが、特にここ数年、中部横断自動車道の大型工事が始まり、大手建設会社からの地元事業者への工事下請や、例えば生コンやコンクリート2次製品等の建設資材の利用、また現場事務所や作業員宿泊施設等で使う日用品など、町内商工業者の利用を働き掛ける方法はないでしょうか。

また、地域の店舗は貴重な地域コミュニケーションの場でもあり、町と商店との連携により、1人暮らしのお年寄りや高齢者世帯等の、安否確認等の情報交換の場としての新たな地域福祉システムとするなどの活用方法は、いかがでしょうか。

以上、町内の商工業者利用については、もちろん商工会の果たすべき重要な使命であります。

アベノミクスが地域の中小企業や小規模事業者への即効性のある効果にも期待を寄せるところでもありますが、改めて地域商工業の振興・発展と、住民福祉の向上に資する役割を担っている町としてのお考えをお伺いいたします。

以上です。

○議長（萩原敬君）

森田守議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

森田議員の質問にお答えいたします。

何回か読みまして、やっぱり言っていることはもっともだと思います。

そこで、私なりの考えを述べさせていただきます。

我が南部町の小売業を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化や社会経済の急激な変化、近隣の大型量販店の進出等により、極めて厳しい状況に置かれております。

その結果、商店街も衰退し、活気が感じられないのが現状であります。

そのような中、町でも商工業者の指導団体である商工会に支援を行い、少しでも商店街の活性化につながればと、地域振興に努めております。

町内商店の利用を増やすには、地元商店ならではの必要なものがいつでも手に入るサービスを、自らの足でアピールし、需要の拡大につなげること。

また、町民が今何を必要としているのか、どのようなサービスを受けたいのかなど、町民のニーズに応えるべきアンケートの実施も必要ではないかと思っております。

高齢化人口が進む中、買い物をするのにも不便を来すお年寄りが増えています。その対策

として、買い物の宅配サービスなどを検討してみることも一案ではないかと思えます。

待っていても人は来ません。その体制づくりを担うのが、商工業者の指導団体である商工会の果たす役割ではないでしょうか。

できるものは町内だと、日ごろより町内行政機関では、地元商店への利用を即しております。現在、山梨中銀隣では、町の補助により、空き店舗対策事業が実施されています。そこでは軽食や食材等が販売されており、小さな子どもからお年寄りが気軽に立ち寄れる、町民の憩いの場として利用されています。

このような、地域に密着した事業展開が集客につながると考えますし、消費者の状況を分析した店づくりが必要になるのではないのでしょうか。

今後は、今まで以上に行政と連携を図りながら集客に取り組むことが、商工会をはじめ町の活性化につながると思えます。

中部横断自動車道の工事に、多くの工事関係業者が町内に入ってきていますので、商工業者の皆さまにも前向きな努力をしていただき、また町といたしましても、商工会への力添えに寄与したいと考えております。

次に、新たな地域福祉システムの構築について、我が国の高齢化の進行は著しいものがあり、単に公的サービスや介護保険だけでは、高齢者福祉に対応できない状況にあります。

そこで、町では平成23年度から高齢者を地域で支える仕組みづくりに取り組んでいます。

森田議員のご指摘の新たな地域福祉システムの構築として、現在、認知症・買い物安心マークのステッカーを作成しており、商工会を通じ間もなく、ご協力いただける町内の各店舗に貼っていただくことになっております。

このステッカーを通じ、認知症の方でも安心して買い物ができるよう、地域で高齢者の見守り体制づくりの啓発を進めてまいります。

以上です。

○議長（萩原敬君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

森田守議員。

○3番議員（森田守君）

ありがとうございました。

主に商店のことについて、ご回答をいただきましたが、また建設業でありますとか、いろいろなサービス業でありますとか、そういった全体的な職業に対する振興について、さらにまた商工会にもお願いするところですが、町にもご努力をお願いしたいと思います。

再質問はありません。

○議長（萩原敬君）

それでは1番目の質問を終了します。

次に2番目の質問を求めます。

森田守議員。

○3番議員（森田守君）

それでは続きまして、郷土芸能の継承につきまして、お伺いいたします。

今年の1月19日に国民文化祭「地歌舞伎の祭典」が島根県と愛媛県の出演団体を迎え、町

文化ホールで開催され、メインの内船歌舞伎や幕間の白鳥太鼓の熱演に、改めて郷土芸能の素晴らしさや保存活動の意義について、認識されたのではないかと思います。

会場に入り切れないほどの盛況で、遠くは秋田県、東京、横浜、埼玉、静岡県各地や県内の市町村からも、大勢の地芝居ファンが訪れ、南部町のPRにもなったと思います。

南部町には、古くから地域に伝わる歌舞伎、相撲甚句、神楽や獅子舞、太鼓等の貴重な郷土の芸能があり、各種イベントや、地域の潤いのある活性化に、一役買ってきているところです。

しかしながら、継承者の高齢化や後継者不足により、これからの保存活動に危機感を抱いている団体がほとんどではないかと推測されます。

中には、すでに保存ができなくなっている文化財もあると思います。

一度途切れると、その復活は困難を極めます。もちろんこれらの保存には、関係者の保存にかける意気込みや情熱・熱意と責任感など、並々ならぬ不屈の努力が不可欠であることは言うまでもありませんが、これからの5年後、10年後、20年後のことを考えますと、もはや猶予はありません。

私は、後世に郷土の芸能をつなげていくには、将来性のある子どもたちに託し、大人と一緒に活動していくことが、最も有効な継承方法ではないかと思います。

少子化の進む中ではありますが、この保存について、小中学校の学校教育の一環として取り組むことの検討はできないでしょうか。

過去に南部中学校の部活動の中で、少女歌舞伎として10年間、内船歌舞伎に取り組んだ経緯もあります。

今なら、まだ子どもたちに教えることのできる指導者がいると思います。学校と地域の保存団体の連携により、貴重な郷土芸能の末永い伝承について、当局のお考えをお伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（萩原敬君）

森田守議員の質問が終わりました。

最初に町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは私から最初にお答えいたします。

ふるさと南部町の美しい自然環境に恵まれた風土の中で、先人たちがはぐくみ築き上げてきた文化は、私たちの周囲にも、今も脈々と生き続けております。

本町では一昨年12月に、内船歌舞伎が山梨県の無形文化財に指定され、今回の国民文化祭・やまなし2013の南部町出展作品として、1月19日、地歌舞伎の祭典を島根県の出雲歌舞伎むらくも座と、愛媛県の伊予八百八狸保存会の応援をいただきながら、大盛況のうちに上演され、改めて町民が郷土芸能の素晴らしさに堪能させられました。

ご質問の郷土芸能の伝承につきましては、若林教育委員長にご答弁をお願いしたいと思います。

○議長（萩原敬君）

次に、教育委員長の答弁を求めます。

若林一明教育委員長。

○教育委員長（若林一明君）

森田議員さんの一般質問にお答えいたします。

ご質問の、末永い郷土芸能の継承についてですが、議員ご指摘のように、町内の芸能文化財としては、徳間の相撲甚句、矢島神楽、峰神楽、西市神楽、佐野の獅子舞及び内船歌舞伎の6件が文化財として指定されております。

そのほか、地区の獅子舞・太鼓等、本町に残された多文化も長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日の世代に伝えられてきた私たちの貴重な財産であります。

さて、郷土芸能の伝承ですが、過去に南部中学校が演劇部の中で内船歌舞伎に取り組んだ経緯もありましたが、現在、中学校には演劇部がありません。少子化ということで、子どもの数も少なくなっているということがあります。

個々の児童生徒への直接参加を各団体がしているものと聞いております。

今後の小中学校での取り組みは、学校の文化活動等の中で検討していかなければならないと考えております。

このような芸能の伝承は、行政が強制するものではありませんが、今後、教育委員会といたしましても、これらの先人が残した貴重な郷土の芸能を存続させ、将来の文化発展向上のためにも、学校、それから育成会、地域の保存団体等の連携を深めて、声掛け等の中で対応していかなければならないと考えております。

以上です。

○議長（萩原敬君）

町長および教育委員長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

森田守議員。

○3番議員（森田守君）

懇切なご回答ありがとうございました。

再質問はありませんので、以上で質問を終了いたします。

ありがとうございました。

○議長（萩原敬君）

以上で森田守議員の一般質問を終了いたします。

次に、8番、木内利明議員の質問を許します。

8番、木内利明議員。

○8番議員（木内利明君）

私は、この3月定例会におきまして、生命と財産を守る災害に強いまちづくりと題しまして、質問をするものであります。

まず、災害に強いまちづくりのために、平成24年10月14日に南部町で大規模な山梨県地震防災訓練が行われ、地震から命を守るための各種の救出訓練が実施され、地震への備えを学んだ訓練内容でありました。

また、我が町で予想される災害には、東海地震を起因とした住宅の全半壊や火災発生、そして局地的な豪雨による急傾斜地崩壊、土石流など、多様な災害発生が想定されますので、その対策について伺うものであります。

まず1番としまして、洪水土砂災害対策であります。

平成20年には、大雨等の自然災害による被害想定をした、富士川洪水ハザードマップが策定され、急傾斜地の崩壊や土石流、河川の氾濫による浸水地域も示されている中で、急傾斜地や土石流、河川の氾濫などの防止工事は、予定の何%が完成したのか。また、残りの実施計画の見通しを示していただきたいと思います。

それに関連して、想定外の崩壊を考えて、危険個所付近の住民に早急に避難行動を勧め、避難が確認できるような仕組みも必要と思いますが、関係住民に避難対応をどう周知していくのか、伺うものであります。

2番目に、ハザードマップを生かした訓練の充実であります。

平成22年には、地震ハザードマップを策定し、各地域の建物の全壊率が20%から35%と色分けされていて、甚大な被害が予想されております。

また、国の中央防災会議の被害想定は、住宅の全半壊が2,540棟、死者が69名、重軽傷者が590名と報告されていて、生命の危険にさらされる人は、家族平均2.5人として積算すると、6,350人くらいが被害想定に当たります。

また、平成24年には防災パンフレット保存版が策定されましたが、各戸に配布しただけでは、減災効果は少ないと思いますので、この保存版を生かし町の災害対策本部が各防災会に具体的に指導して、各防災会は自分たちの地域は自分たちで守るという鉄則による自助・近助・共助・公助を用いて、現状を少しでも前に進め、確かな減災対策が求められていますので、本番に役立つ自主防災会の各班の訓練活動の充実を、今後どのように進めるのか伺うものであります。

最後に3点目であります。

避難所の仮設水洗トイレの設定であります。

我が町では、災害の発生時には緊急避難所は120カ所を設定しておりますが、23年12月議会で避難所での2次災害を防ぐために、建物の耐震化を求めましたが、納得のいく回答が得られませんでした。少しでも耐震化することで安心できる避難所にしていきたいと思っております。

また、避難所の最大の問題は仮設トイレの水洗化であります。

水洗トイレや汲み取り式がない避難所は、劣悪な環境の中でのトイレ使用に精神的に支障をきたし、避難所生活ができなくなり、入院された避難者も多くいると聞いております。

そこで南部町議会は、25年2月5日に県内防災事業の先進地の自治体を訪問して、その町の公園は防災拠点と位置付け、仮設水洗トイレは公園に100個あり、地中に排水管を敷設して、その上にいつでも使用できるように、マンホールと水道が設置され、いざという時に備えていく現場を視察して、我が町でも何箇所かの避難所に設置を考えていただきたく、町長の考えを伺うものであります。

○議長（萩原敬君）

木内利明議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、木内議員のご質問にお答えいたします。

いくつかの項目がありますが、質問要旨3項目に対しまして、5点のお答えでよろしいかと

と思いますが、まず1項目目の洪水・土砂災害対策にかかわる質問中、急傾斜地の崩壊や土石流、河川の氾濫等に対する防止対策工事の完成率と、今後の実施計画を示していただきたいとのご質問2点について、お答えをさせていただきます。

1点目の、山梨県が指定する本町の区分別工事の完成率であります。砂防指定箇所数67カ所中、整備済み、一般整備済み、整備中の箇所は31カ所であり、進捗率46.3%であります。今年度においては、継続的な箇所を含め、8カ所を実施しております。

次に、急傾斜地危険箇所数294カ所中、急傾斜地崩壊危険区域に22カ所が指定されており、うち12カ所が整備済みで進捗率54.5%であります。今年度においては、継続的な箇所を含め、8カ所が実施中、2カ所が計画中であります。

地滑り指定箇所数5カ所中、整備済み、一般整備済み、整備中の数は2カ所であり、進捗率40%であります。今年度においては、継続的な箇所を含め、1カ所、大塩地内を実施しております。

次に、2点目の今後の実施計画についてであります。この内容は山梨県峡南建設事務所身延管理課に確認をいたしました。各指定箇所及び危険箇所の中には、国庫補助、県単事業の対象とならない箇所があること、また土砂新法が制定されたことにより、整備済みの箇所であっても、現行基準に合わない既存不適格箇所が存在し、流域の状況も経年変化していることが実情であることから、当面は、現行の指定箇所数を事業実施箇所数として、継続的に実施していきたいとのことでありますので、ご理解をいただきたいと思っております。

今後、町としましては、県の動向に対して協力体制を図り、年々工事進捗率が高まるよう、強く要望してまいります。

次に、同項目の3点目、洪水・土砂災害対策にかかわる質問中、大規模な崩壊を想定した場合に対する、付近住民への避難対応の周知方法について伺いたいのご質問にお答えいたします。

町民、各関係団体等への避難勧告周知方法であります。避難勧告周知を行う状況は災害規模等により異なりますので、状況を的確に判断しながら、FM告知端末、消防防災移動系無線、衛星携帯電話、町広報車、消防車両、警察車両による巡回広報、町ホームページへの掲載、テレビ放送機関への依頼、全国瞬時警報システムJアラート（消防庁から通信衛星を経由し、自動機動により、市町村民に伝達されます）等による周知方法を考えております。

私は、災害時に対する避難の基本方針として、洪水・土砂災害が発生する以前に避難を完了することを原則とすること、避難行動や情報面での支援を要する住民、すなわち災害時要援護者を確実に避難させること、避難行動における安全性の確保を図ること、生命を守る最低限の行動選択肢として、状況に応じて緊急的に建物2階等へ避難する、あるいは隣接建物に避難することもあり得ること。

また、避難勧告等の発令判断基準として、自治体において、どのような状況下になれば、住民が避難行動を開始する必要があるかをあらかじめ確認し、気象観照（甲府地方气象台）、河川管理者、国土交通省、山梨県等の関係機関から提供される情報や、補足情報を可能な限り活用し、また自らが収集する情報等をもとに、避難勧告を確実に発令しなければならないと考えます。

発令にあたっては、住民が避難情報の意味を理解し、生命にかかわる危険性があることを認識していただくことが重要でありますので、避難勧告を適切なタイミングで該当する対象地域

へ発令し、住民への迅速・確実な伝達を行い、有事に至る前に避難が行われるよう対処しなければなりません。

連絡要領は、各自治会、各種行政関係機関の代表者を中心に避難することになりますが、認識を共有しておくことが重要であると考えております。

1項目の質問は、その2点のお答えですが、よろしいですか。

それでは次に2項目目の、ハザードマップを生かした訓練の充実にかかわる質問中、地震ハザードマップ保存版、防災パンフレット保存版を活用しながら、各自主防災会に対し、自助・近助・共助・公助を共有しつつも、行政指導型での防災、減災対策指導が求められている。今後、町では自主防災会単位の訓練活動をどのように進めていくのか伺いたい、との質問にお答えさせていただきます。

大きな災害時には、個人や家族だけの対応には当然限界があります。

また、公的機関の町民に対する援助体制が、発災直後から機能することは難しいとされているため、発災直後においては、各地域、近隣での助け合い、近助・共助が重要となります。

特に、災害時要援護者といわれる人は、避難に必要な情報の把握や自力での避難行動に困難を伴うことが多くあります。自分の安全確保、家族の安全確認、消火活動など、一連の災害活動に加え、地域の災害時要援護者の安否確認、避難の手助けを災害支援活動の1つとして考えなければならないと思っております。

社会情勢の変化に伴い、防災・減災対策に対する町民の要求が高まる一方、財政の緊迫化により、災害対策事業といえども、その一層の効率化・重点化にも、同時に目を向けていかなければならないことも事実であります。

災害に強い町を構築するために、今後、町では自主防災会単位の訓練の想定災害を、地震災害・土砂災害・洪水災害を主軸として展開していかなければなりません。

これから、その切迫性が指摘されている東海地震など、想定される地震災害等の軽減を図るためには、長期的な戦略が必要となりますが、喫緊の課題・内容を総合的に抽出しながら、優先的序列を付け、実務的な研修・訓練を積み重ね、併せて備蓄品の確保を図りながら、安心で安全なまちづくりの向上に努め、全体進捗率を高めてまいりたいと思っております。

最後に、避難所の仮設水洗トイレの設置にかかわる質問ですが、トイレのない指定避難所については、その実態を把握させていただきます。

平成21年度に防災備蓄備品として、応急仮設トイレ（プライバシー保護用トイレテント）を各自治会へ1台配備させていただいておりますが、今後、台数を増やしていく予定です。

トイレの種類も多様化されておりますので、その使用を改めて精査させていただきます。

参考までにお話しさせていただきますと、先ほど県内先進地自治体の一例ということでしたが、たぶん昭和町ではないかと思えます。

ここは、聞きましたら、この事業のために5カ年計画を立て、総工費32億円、町費7億円という大きな事業であります。

その中で、仮設水洗トイレ整備工事費として約3,300万円かかっております。終末処理は公園内の既設下水道処理施設に接続し、釜無川浄化センターに合流しております。

いずれにしても、今後の本町の考え方といたしましては、避難所としてトイレ使用ができないという状況下であってはなりませんので、先ほど申しあげましたように、実態を把握し、どのような対応が妥当なのか、検討させていただきたいと思えます。

以上であります。

○議長（萩原敬君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

木内利明議員。

○8番議員（木内利明君）

町長より丁寧な答弁をいただきました。

大体それで私も方向を、町長自らが取ってくれていることは、非常に心強さも感じるわけですが、1つずつ再質問ということで、聞いていただきたいと思います。

答弁に決して不満はありません。

皆さんも知っているとおりに、これが配られて、これを見たときにはぞっとしました。ということは、赤いところが倒壊ですね。全壊すると。これを見たら、ほとんどやられてしまうなど。

ですから2, 540戸ということの、そのひどさは一目瞭然で、これをただ資料として持っているだけだったら、何の意味もないですね。

これを使って、いかにここのセンターが各防災会にいろいろな指導をして、訓練をしていくかと。

前にも町長に話をしたつもりであります。訓練は本番のように本番は訓練のように。なんだその言葉は反対ではないかと。そういうことではなくて、訓練で本番のことをしていないと、本番では何もできないということが証明されました。

この言葉は、私たちの組合も阪神淡路大震災へ行ったとき、総括で聞いた言葉であります。これからは、この言葉が重要になると。これをきちっと守ることによって、減災は必ず成功する。そこまで担当している市長からのお言葉をいただいた、教訓の言葉の1つであります。

それで、洪水のほうの話をされまして、全くそのとおりで、ここまで進んでいるとは、私は思っておりませんでした。

ということは、富士川マップを見た場合に、非常に急傾斜地、土石流、この指定は非常に多かったですね。私が見るだけでも150カ所ぐらいあったわけですが、住宅の近くが結構ありましたものですから、どうしてもこういう人たちに早めの避難をしてくれと、そういうこといろいろなことを町長が言われましたが、もう1回答えていただきたいのは、周知をする方法、こういう方法があるよということは分かりましたが、いつもそこでおしまいになってしまうと、避難したかどうか、どうしても分からないじゃないですか。

そこで必要なことが、近助という言葉を入れさせてもらいましたが、お年寄りには向こう3軒両隣で、このお年寄りをどうのように避難するかと。具体的に誰がこのお年寄りの面倒を見ていくかということ、各防災会で、各組で話し合っていくことが、こういうことのミスがなくして、結局、命を守っていく方法だと思いますが、そういうような方法があるけれども、町長はどのように考えているかということで、お答えをいただきたいと思います。

それからハザードマップのほうであります。私がここで一番言いたいのは、各防災会は防災会長を中心に頭のほうだけが一生懸命しているけれども、いわゆる防災会として各班がいろいろと責任分野がありますね。そのことを果たしてしているかということ、ほとんどしていないほうが多いような気がする。

ですから、各班の訓練をすることによって、いざといったときの手順をそこで覚えるじゃな

いですか。

で、ありますから、私が言っていることは、ただ単にこれまでしてきたように事務的ではなくて、もう具体的に救護班はこれとこれをやる、ではどういうものを揃えとか、そういうところまで具体的に、ここがやるのではなくて、各自主防災会がせめていけるような、そういうようなことも担当課長と話をし、ぜひ考えてもらいたい。

これについて、ちょっともう一度、お答えをしていただきたいと思います。

トイレのことでありますが、私も阪神淡路大震災でお話を十分聞いておりまして、簡易トイレでは満足がいかないようです。あの臭いが非常にきついということがあって、人家の近くだと拒否されるということがありました、避難をしても。

ですから、そういうことがありますから、今の水洗トイレに増設していくか、何かそのような考え方も。そして水道管が恐らく地震のときには破綻しますから、ある程度1日ぐらいの、水洗トイレですから、水が必要ですが、その水の確保をどのようにしていける可能性があるかという、そういう設定を考えていただきたいと思います。

この3点について、町長、もう一度ご答弁をお願いいたします。

○議長（萩原敬君）

木内利明議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

今、木内議員の再質問ですが、ほとんどが自主的な訓練の必要性ということを申されました。実は今年度、交通防災課のほうで、そのへんのことはすべて計画しております。ぜひこの1年間、ちょっと見ていただきたいと思います。

それから、やっぱり一挙にすべてのことをできませんから、段階的にやっていこうと。それは、もう綿密に打ち合わせをしております。

それからトイレ、これに関しましては先ほど言いましたように、相当な金額がかかりますから、これはどうしたらいいかということ、もう一度検討させていただきたいと思います。

その上で、この町の実情に合った形での方向性を見出したいなと思っています。

○議長（萩原敬君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

木内利明議員。

○8番議員（木内利明君）

要望としてお願いします。

町長より再答弁をしていただきまして、ある面では非常に私なりに安堵しているところがあります。

ということは、一番大事なのは、この問題を扱うときに、誰が来いではなくて、経験した人を少しでも引っ張ってくる事なんですね。その人たちは実践しているから、いろいろなことが分かる。

例えば、うちの町が東日本大震災で医師と看護師さんは行ってくれましたが、ほかの市町村では仮設住宅が始まって、みんな派遣をして、どういうものがこういうときに必要かというこ

とを、大体調べてきたようですね。

いつか、そういう経験がある人たちがいれば、どういうことをしていかなければならないか、大体その検討はつくはずでありますから、綿密な計画は自分たちだけではなくて、こういうことを経験した人たちを織り込んで、そしてうちの町の対策に生かしていただきたいことをお願い申し上げまして、一般質問を終わります。

○議長（萩原敬君）

以上で木内利明議員の一般質問を終了いたします。

以上で一般質問を終結いたします。

○議長（萩原敬君）

日程第9 議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。

お手元に配布してあります、議員派遣の件のとおり、議員を派遣することにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、お手元に配布してあります資料のとおり、議員派遣をすることに決定しました。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これで本日の会議を閉会いたします。

なお、明日7日木曜日には、2日目の本会議を開きます。

内容は現地視察です。

本庁を午前9時30分出発となっておりますので、午前9時までに議員控室にご参集ください。

また、11日には総務建設常任委員会の審査が、12日には文教厚生常任委員会の審査が行われます。

会場は2階大会議室、開会は午前9時であります。

時間までに、2階大会議室にご参集くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

以上で散会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後15時05分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

平成25年3月6日

南部町議会議長

萩原敬

会議録署名議員

内田大明

会議録署名議員

遠藤光宣

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議会事務局長

望月哲也

平成 2 5 年

南部町議会第 1 回定例会会議録

3 月 7 日

平成25年南部町議会第1回定例会（第2日目）

議事日程（第1号）

平成25年3月7日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議長あいさつ
2. 開会・開議
3. 日程報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 現地視察

4. 出席議員は次のとおりである。（12名）

1番 遠藤光宣	2番 仲亀佳定
3番 森田守	4番 望月藤一
5番 望月將名	6番 簀持雅
7番 鍋田幹雄	8番 木内利明
9番 堀之内可和	10番 佐野哲也
11番 内田大明	12番 萩原敬

5. 欠席議員（なし）

6. 会議録署名議員

2番 仲亀佳定	3番 森田守
---------	--------

7. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名（7名）

交通防災課長	望月一弥	企画課長	佐野隆行
福祉保健課長（兼） 地域包括支援センター所長	望月政文	水道環境課長	長坂正志
産業振興課長（兼） 農業委員会事務局長	斉藤文明	建設課長	鈴木正規
学校教育課長	若林 治		

8. 職務のために議場に参加した者の職氏名（1名）

議会事務局長 望月哲也

開会 午前 9時30分

○議長（萩原敬君）

おはようございます。

ただいまから平成25年南部町議会第1回定例会、2日目の会議を開会いたします。

ただいまの出席議員は、12名で定足数に達しておりますので、平成25年南部町議会第1回定例会、2日目の会議は成立いたしました。

それではただちに本日の会議を開きます。

○議長（萩原敬君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により議長において、2番 仲亀佳定議員及び3番 森田守議員の両名を指名いたします。

○議長（萩原敬君）

日程第2 ただいまから、現地視察を実施いたします。

順路はお手元にお配りいたしました行程表のとおりであります。

ただちに現地に行きますので、お願いいたします。

《現地視察》

○議長（萩原敬君）

現地視察が終了いたしました。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これで、本日の会議を閉会いたします。

なお、11日には総務建設常任委員会の審査が、12日には文教厚生常任委員会の審査が行われます。

会場は2階大会議室、開会は午前9時であります。

時間までに、2階大会議室にご参集くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、次回の本会議は、3月22日、午前9時30分より、3日目を開会いたします。

議員の皆さまは午前9時までに控室にご参集ください。

以上で散会といたします。ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時15分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

平成25年3月7日

南部町議会議長

萩原 敬

会議録署名議員

仲 亀 佳 定

会議録署名議員

森 田 守

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長 望 月 哲 也

平成 2 5 年

南部町議会第 1 回定例会会議録

3 月 2 2 日

平成25年南部町議会第1回定例会（第3日目）

議事日程（第1号）

平成25年3月22日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議長あいさつ
2. 開会・開議
3. 日程報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 常任委員会委員長審査報告・質疑

日程第3 町長提出議案の討論・採決

議案第1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

議案第2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について

議案第3号 南部町道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について

議案第4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について

議案第5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第7号 南部町学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について

議案第9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更について

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）

議案第11号 平成24年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

議案第12号 平成24年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第3号）

議案第13号 平成24年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第14号 平成24年度南部町介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第15号 平成24年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

議案第16号 平成24年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）

議案第17号 平成24年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）

議案第18号 平成24年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計
補正予算(第1号)

議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算

議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算

議案第21号 平成25年度南部町指定居宅サービス特別会計予算

議案第22号 平成25年度南部町国民健康保険特別会計予算

議案第23号 平成25年度南部町介護保険特別会計予算

議案第24号 平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算

議案第25号 平成25年度南部町睦合財産区特別会計予算

議案第26号 平成25年度南部町富沢財産区特別会計予算

議案第27号 平成25年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計
予算

議案第28号 平成25年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計
予算

- 日程第4 閉会中の継続調査について
- 追加日程第1 議案第29号 平成24年度南部町一般会計補正予算(第6号)
- 議案第30号 教育委員会委員の任命について
- 議案第31号 教育委員会委員の任命について

4. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	遠藤光宣	2番	仲亀佳定
3番	森田守	4番	望月藤一
5番	望月將名	6番	籙持雅
7番	鍋田幹雄	8番	木内利明
9番	堀之内可和	10番	佐野哲也
11番	内田大明	12番	萩原敬

5. 欠席議員(なし)

6. 会議録署名議員

4番	望月藤一	5番	望月將名
----	------	----	------

7. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名(24名)

町長	佐野和広	教育委員長	若林一明
代表監査委員	大窪昌樹	教育長	久保川昭弘
会計管理者	望月宝	総務課長	若林正昭
交通防災課長	望月一弥	企画課長	佐野隆行
財政課長	四條和彦	税務課長	青木司
住民課長	古屋秀樹	福祉保健課長(兼) 地域包括支援センター所長	望月政文
アルファセンター所長	小倉弘規	デイサービスセンター所長 (兼)老人福祉センター所長	近藤勝
健康管理センター所長	小池治男	子育て支援課長	田村秋人
水道環境課長	長坂正志	環境センター所長	若林邦治
産業振興課長(兼) 農業委員会事務局長	斉藤文明	建設課長	鈴木正規
登記室長	佐野日出夫	学校教育課長	若林治
生涯学習課長	仙洞田秀文	生涯スポーツ課長	望月良治

8. 職務のために議場に出席した者の職氏名(1名)

議会事務局長 望月哲也

○議長（萩原敬君）

皆さま、おはようございます。

平成25年第1回定例会3日目の開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

3月10日には十枚山で冬山遭難事故が発生し、町長を先頭として、消防団幹部・本部消防・第3部消防団の皆さまをはじめ関係の皆さまに大変ご苦労をおかけいたしました。

おかげさまで、大事に至らず発見することができましたことに、議会といたしましても、心から御礼を申し上げます。

議員各位には、昨日は各小学校の卒業式にご出席をいただき、ありがとうございました。

開会后2日目の現地調査から各委員会審査、その間、中学校の卒業式があり、慌ただしい日々であったことと思います。

今後も新年度に入り、各種の行事があると思いますが、よろしくご出席をお願いいたします。

それでは本日は最終日となると思いますが、大事な案件が提案されております。

慎重な審議をお願いいたしますとともに、円滑なる議会運営に格段のご協力をお願い申し上げます、3日目の開会のあいさつとさせていただきます。

よろしくをお願いいたします。

ただいまから平成25年南部町議会第1回定例会3日目の会議を開会いたします。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、平成25年南部町議会第1回定例会3日目の会議は成立いたしました。

それでは、ただちに本日の会議を開きます。

○議長（萩原敬君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により議長において、4番 望月藤一議員及び5番 望月將名議員の両名を指名いたします。

○議長（萩原敬君）

日程第2 常任委員会委員長の審査報告及び審査報告に対する質疑を行います。

まず、常任委員会委員長の報告を求めます。

最初に、総務建設常任委員会委員長報告を求めます。

総務建設常任委員会、望月將名委員長。

○総務建設常任委員長（望月將名君）

それでは、総務建設常任委員会、委員会審査報告をいたします。

本委員会は、平成25年3月11日、月曜日に開会し、午前9時から午後3時45分まで、南部町役場本庁舎2階大会議室で審査いたしました。

出席者は、委員長私、望月將名、望月藤一副委員長、内田大明委員、堀之内可和委員、鍋田幹雄委員、仲亀佳定委員、萩原敬議長。

執行部からは、総務課、交通防災課、企画課、財政課、税務課、産業振興課、農業委員会、建設課、登記室、議会事務局の各課長、室長、局長及び担当職員が出席いたしました。

お手元に配布のとおり、総務建設常任委員会に付託された議案第2号から議案第28号までの17件の議案について、所管課より説明を受け、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、審議の過程において、次の質疑があり、所管課からそれぞれ答弁がありました。質疑の内容について、別冊の総務建設常任委員会審査報告書より、抜粋して報告いたします。それでは報告書、総務建設常任委員会審査報告書をお開きいただきたいと思います。

まず審査報告書の3ページをお開きください。

3ページは総務課・分庁舎・万沢支所関係でございます。

議案第5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について。
問、提案理由の説明を簡単に。

答、自治法の改正により、公聴会の開催、参考人の招致が本会議においてもできることとなりました。このため、証人等の実費弁償に関する条例の引用部分の条ずれを解消するものです。

次に、4ページをお開きください。

4ページ中段で、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算、その下の歳入です。

問、P22、総務費県補助金中、消費者行政活性化交付金市町村事業交付金は県からの10分の10の補助だと思うが、その内容について説明を。

答、県の補助金10分の10により、事業を毎年行っておりますが、24年度で県事業が終了の予定でした。しかし、県で事業額を縮小して継続するということから、例年同様に悪徳商法防止に関するチラシ等を作成する計画としております。23年度、24年度は小冊子を配布しております。

次に5ページをお開きください。一番上です。

問、光ファイバーケーブルになる前はオフトーク通信で、NTTに管路等の使用料を払っていたが、光になったことで金銭的なことなどが、どのように変わったのか説明を。

答、以前は年間で約3,600万円余りの費用がすべて一般財源でかかっていましたが、光ファイバーケーブルに変わり、先ほどお話ししたIRU契約による相殺部分があるので、それを予算ベースで当時と比較しますと、一般財源が2千万円程度削減されています。

次に中段、中ほどより。

問、国家公務員は2年間の時限立法で7.8%の給与費の減額ということで、地方公務員についても、減額について国の強い指導がされているが、削減の方法等、どのように考えているのか。

答、国家公務員については、平成24年、25年度の2カ年、国家公務員の臨時特例法により、7.8%の減額支給措置がされているところです。地方公務員についても、7.8%に相当する減額を行うよう、各自治体に要請がされています。この取扱いについては、国家公務員のラスパイレス指数を100とした場合、各市町村におけるラスパイレス指数の上昇分に対して、減額措置を講じるものです。南部町については、ラスパイレスが93.3%でありましたが、国家公務員の臨時的給与減額支給措置7.8%引き下げにより、101.1%となりました。引き下げは、この1.1%の上昇部分について行うことになると思います。今後、県の指導も受けながら、6月議会で給与条例の一部改正が必要になるものと思われま

次に7ページをお開きください。

交通防災課関係です。

下から9行目。

問、P15、総務費国庫補助金中、交通防災課所管分の地域の元気臨時交付金22万円について、説明を。

答、平成25年1月11日に閣議決定された、日本経済再生に向けた緊急経済対策として、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的とした臨時交付金であります。平成24年度3月限りの特別措置として交付されているものであります。この交付金は平成24年度補正予算で執行する事業についてのみが対象となっておりますが、交通防災課所管分としては、木造住宅耐震化支援事業に1件該当するものです。木造住宅耐震改修事業費は110万円ですが、このうち町が負担する8割分の22万円を、この交付金で充当するものです。

次に8ページをお開きください。

8ページは中段からです。

議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算、歳入で下から5行目。

問、今回の町営バス運行の時刻改正について説明を。

答、毎年1回、3月のJR身延線ダイヤ改正に合わせて、町営バス運行時刻の改正を行っています。今回の時刻改正では、JR身延線の発車時刻に配慮したこと、また万沢大城地区を新たに運行経路として追加しましたが、町の素案をもとに地域の方々と意見交換会を行い、その後、運営協議会の承認が得られました。なお、今回からの運行に伴い、大城地区の毎月第2・第4火曜日の、万沢診療所午後診療の受診送迎は廃止となります。

次に同じく9ページの上から9行目。

問、P20、土木費国庫補助金中、住宅費補助金153万円の内容は。

答、木造住宅耐震診断事業費補助金は平成24年度同様20件分を、民間住宅耐震改修事業費交付金、民間住宅耐震シェルター設置事業費交付金、木造住宅耐震改修設計事業費補助金は、それぞれ3件分を見込んでおります。なお、国・県補助率は国庫分がそれぞれ2分の1、県補助金は3分の1と4分の1に事業別に区分されます。

次に同じく9ページ、歳出で下から10行目。

問、P42、町営バス運行費中、町営バス運行委託料1,799万7千円について、説明を。

答、町内で町営バス運行委託ができる業者は株式会社南部交通が唯一の委託業者であります。毎年契約の際は、株式会社南部交通のほか数社から見積りの提出を依頼し、その結果として株式会社南部交通と運行委託契約を締結しています。委託料は人件費に相当する内容が主で、5台6路線分、月平均149万9,750円に12カ月を乗じた額となっております。

次に10ページをお開きください。上から3行目。

問、P42、安心なまちづくり推進費中、備品購入費の防災用備品購入費について説明を。

答、衛星携帯電話を4台、衛星携帯電話充電用発電機と携行缶4台分の購入費で、1台当たりの金額は発電機・携行缶込みで39万8千円ほどです。これは大城、屋敷平、御堂、井出八木沢の4地区に配備を予定しております。

次に11ページをお開きください。上から3行目。

問、P100、災害対策費中、備品購入費352万円について説明を。

答、災害時用アルミ製軽量組立式リヤカー15万8千円を4台と、宝くじ協会各種施設助成事業補助金（上限200万円）を財源に、ステンレス製防災備蓄倉庫1棟を医療センター駐車場内に整備するものです。この防災備蓄倉庫の整備は、町を大きく4地区に区分、既存の倉庫

を含め、各地区に1カ所整備する防災基盤整備事業であります。

続いて、その下。

問、P100、災害対策費中、負担金補助及び交付金、地域の防災力を高める支援事業補助金280万円について説明を。

答、自主防災会の防災備蓄備品等の整備については、毎年、各区へ10万円を限度に補助金を交付しております。24年度まで25地区への補助金交付をしておりますが、新年度から町営サンテラス内船、県営住宅南光平、県営住宅富沢団地を加え、28地区へ交付する予定です。新年度は今年度に対し、30万円増額となっております。

次に12ページをお開きください。

12ページは企画課関係です。

一番上から、議案第9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更について。

問、提案理由について、過疎計画の実施や交付税のバック等に関して、付け加えて説明を。

答、各課から出された計画について取りまとめをし、財政課と協議をしております。財政課では、経費が特定の年度に集中してほかの予算に支障の出ることがないように、平成22年度から27年度までの各年度に割り振って計画を立てています。今回この期間に新たに新規事業の追加を提案させていただきました。事業により充当率や交付税のバック率が異なります。

次に14ページをお開きください。

14ページは、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算の歳出となっております。

上から3行目。

問、P44、地域活性化推進事業費中、委託料・工事請負費に関連して、今回のスケジュールについて説明を。

答、万沢中学校跡地に建設します集合住宅については、先日視察をしていただいたとおり、年度内完成予定で現在、解体工事を進めています。設計業務に関しても大詰めの段階で、年度内に出来上がるものと思われます。来年度はいよいよ建築ということで、工事請負費1億7,325万円を計上いたしました。これに伴う工事管理委託は工事費の2%の概算で予算化しております。スケジュール的には、今回承認をいただければ、4月早々から準備段階に入り、入札・仮契約のあとに6月議会で承認をいただいて着工し、26年1月ないし2月までに完成させたいと考えます。その間にPR・募集を進めていくこととなりますが、4月から供用開始が行えるよう計画しているところであります。

次に15ページをお開きください。

15ページ、財政課関係、上段から。

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）の歳入です。

上から10行目。

問、P20、臨時財政対策債の当初予算計上額2億4千万円がゼロになるということで、財政的に借入せずに大丈夫と解釈するが、この償還は何年間か。

答、今年度は余剰財源がありますので、最終的に借り入れをしないという補正をさせていただきました。この臨時財政対策債は、本来町で借り入れをすれば、元利償還金分が交付税へ算入されます。つまり、国で定める金額の全額を償還分として、後年度に普通交付税に理論算入されることとなります。償還年数については20年です。後年度の負担を軽減するため、今年度は借り入れをしないこととしました。

次に、16ページをお開きください。

16ページ下段、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算。
歳入。

問、町の予算編成にかかる基本的な考え方は、国の地方財政計画に基づきやっていると思うが、交付税・譲与税を含めた中で説明を。

答、町の予算編成を行うにあたり、町予算の半分以上が地方交付税であるので、これに頼らざるを得ない状況です。国が示す平成25年度の地方財政計画によりますと、25年度の地方交付税は昨年度に比べ2.2%の減額となっています。今年度の南部町の地方交付税は26億8,600万1千円を予算計上しました。県の試算によりますと、普通交付税は28億500万円を算出しているため、普通交付税の財源留保分は1億1,900万円となります。また普通交付税につきましては、合併後10年を過ぎたところで合併算定替えによる減額が始まることから、山梨県では南部町がトップをきって、25年度から減額となります。5年間で徐々に減額されますが、25年度分の算定替えによる減額は約4,800万円が見込まれます。なお、最終確定は7月ごろになります。また、譲与税につきましては、前年度実績をもとに試算しております。

次に、同じく17ページの歳出で下から14行目。

問、P140公債費と、P147地方債現在高見込みに関する調書は関連するので、合わせて説明を。

答、まず公債費の元金ですが、前年度比較で3,176万9千円の減額となっています。主な要因は24年度の当初予算で借換債5,880万円を計上しましたが、その減額分と、24年度中に臨財債の繰上げ償還3億1,300万円を行うことによる減額が含まれています。借換債分は歳入で入れて歳出で返しますため、それを除く実質元金は増額となります。その理由としては、平成25年度から合併特例債と臨時財政対策債の大型元金の償還が始まるためです。借換債を除くと、逆に2,700万円ほどプラスになります。続いて利子については、前年度比1,591万5千円ほどの減額になります。これは地方債の未償還額が昨年よりも圧縮されたことに伴い、利子が減っていることが主なものであります。このようなことで予算書の147ページを見ていただくと、平成24年度末地方債現在高見込額の合計欄71億4,584万3千円から、本年度中の起債見込額5億7,040万円と元金償還見込額9億6,707万5千円を差し引いた3億9,667万5千円が減額となり、平成25年度末地方債現在高見込額は67億4,916万8千円となります。なおかつ、平成24年度減債基金に積み足した3億円を取り崩して、25年度中に繰上げ償還すると、さらに大幅な減額が図られ、25年度末地方債現在高見込み額は64億円ほどになります。

以上が財政課関係でした。

次に19ページをお開きください。

19ページは税務課関係です。

議案第6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定について。

問、改正条例の具体的な説明を。

答、国税において、すべての処分について原則として理由の提示を行うことを受け、地方税に関する処分についても、行政手続法の規定に基づき、理由を提示することになりました。本条例におきましても、行政手続条例8条の「理由の提示」および14条の「不利益処分の理由

の提示」を適用除外から除き、適用とする改正です。これまでも書面により理由を提示しておりましたが、改めて法律で理由の提示が義務付けられたものであります。

次に20ページをお開きください。

20ページは、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算の歳入で下から7行目。

問、法人分については、法人税割が1, 200万円ほど減額となっている。この説明と将来的見通しについて説明を。

答、業績の低迷と本年度から法人実効税率が引き下げられることから、およそ1千万円の減額になるものと想定しております。この法人実効税率の引き下げですが、法人町民税は国税の法人税額を課税標準としているため、国税の税率が30%から25.5%に引き下げとなることから、これに連動して法人町民税も減額となります。

次に23ページをお開きください。

23ページは産業振興課・農業委員会関係です。

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）の中段より、歳出。

問、P34、農業振興費負担金、補助及び交付金中、中山間総合整備事業負担金1,480万円について説明を。

答、国の経済対策大型補正で中山間総合整備事業1億4千万円が追加され、町負担金2,200万円が増額となりました。24年度事業費負担金の確定により、その差額の負担金を計上しました。なお、負担割合は一般事業費分が15%分で1,500万円、鳥獣柵分が17.5%で700万円です。

次に25ページをお開きください。

25ページは、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算の歳出となっております。上から7行目。

問、P83、農業振興費負担金補助及び交付金中、中山間地域総合整備事業費負担金3,325万円について説明を。

答、一般事業分として、中野・本郷地内の農業用排水路工事、本郷地内の農道工事と、農業用排水路用地調査業務委託として、柳島地内・成島地内・本郷地内・下井出及び十島地内を予定しています。鳥獣柵分として本郷・成島と、今後希望する地区等の鳥獣害防止設置工事業務委託及び鳥獣害防止柵設置工事5千メートル分です。以上、8事業への負担金です。負担率は一般分が15%、鳥獣柵分が17.5%です。

次に、同じ25ページの一番下になります。

問、24年度に導入された森林環境税の活用について説明を。

答、森林環境税はこれまでの造林補助金68%に上乗せされ、山林所有者負担なしの100%補助による間伐や、里山整備・荒廃森林の再生整備等に活用されています。現在は森林組合が一括で取りまとめて事業を推進しています。

次に29ページをお開きください。

29ページは建設課関係です。

議案第2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について。

問、条例の要約について説明を。

答、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による道路法の一部改正に伴い、今まで国で定めていた、道路の構造の技術的

基準を町で定めるものです。内容は、一部町の現状に即した条文もありますが、そのほかは今までの国の基準と変わりません。今後の町道の整備は、この基準に基づいて実施します。

次に、同じページで下から7行目。

議案第4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について。

問、条例の要約について説明を。

答、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行による河川法の一部改正に伴い、今まで国で定めていた河川の構造の技術的基準を町で定めるものです。内容は今までの国の基準と変わりません。今後は、南部町で管理する準用河川16河川の整備は、この条例に基づいて実施します。

次に30ページをお開きください。中段より。

議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算、下から7行目、歳入です。

問、P20、土木費国庫補助金中、社会資本整備事業費補助金1,170万円について説明を。

答、橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費補助金650万円は、橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費260万円と橋りょうの補修設計事業費390万円です。道路改良事業費補助金は町道御屋敷上線の測量設計と用地補償の520万円を予定しております。合計で1,170万円の補助金となります。なお、補助率は65%です。

次に32ページをお開きください。

32ページは登記室関係です。

議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算で、歳出。

問、平成25年度の地籍調査事業について説明を。

答、平成25年度の地籍調査では、万沢4地区の、中尾から平山に向かい13の字を対象に調査を計画しています。また、前回より8ヘクタール拡大して、調査面積を33ヘクタール、筆数は1,254筆としました。今後も事業の早期終了に努めていきます。

次に、問、P85、地籍調査費委託料中、登記用地測量委託料500万円について説明を。

答、嘱託登記に伴う地籍測量図の作成と、地籍錯誤による地図訂正に必要な測量業務を委託するものです。

以上で総務建設常任委員会、委員会審査報告を終わります。

○議長（萩原敬君）

委員長は、その場でお待ち願います。

委員長報告が終わりました。

質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、総務建設常任委員会の委員長報告に対する質疑を終了いたします。

望月将名委員長、ご苦労さまでした。

次に、文教厚生常任委員会委員長報告を求めます。

文教厚生常任委員会、木内利明委員長。

○文教厚生常任委員長（木内利明君）

文教厚生常任委員会、委員会審査を報告いたします。

本委員会は、平成25年3月12日、火曜日に開会し、午前9時から午後4時まで、南部町役場本庁舎2階、大会議室で行いました。

出席者、委員長私、木内利明、旗持雅副委員長、佐野哲也委員、森田守委員、遠藤光宣委員、萩原敬議長であります。

執行部からは、教育長、総務課長、住民課、医療センター、税務課、福祉保健課、デイサービスセンター、アルファセンター、子育て支援課、水道環境課、環境センター、教育委員会の各課長・所長及び担当職員が出席いたしました。

お手元に配布のとおり、文教厚生常任委員会に付託されました、議案第1号から議案第24号までの15件の議案について、所管課より説明を受け、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、審議の過程において次の質疑があり、所管課からそれぞれ答弁がありました。

質疑の内容については、別冊の文教厚生常任委員会審議報告書を開いていただきたいと思えます。

審議したのは160項目であります、28項目について報告をさせていただきます。

報告書を開いていただきたいと思えます。

3ページであります。

住民課・医療センター関係であります。

議案第13号 平成24年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の事業勘定であります。

まず歳入の一番上であります。

問、国民健康保険税の滞納の取り組みについて説明を。

答、国保税滞納分の収納率は3月1日現在で27.24%と、前年度に比べ10.4%増加になっております。滞納世帯への対応については、納めたくても納められない世帯が近年増えているため、各家庭の実情や収入状況を調査し、その家庭に合わせた対策を取っているということであります。

次に5ページを開いていただきたいと思えます。

南部・万沢診療所の施設勘定であります。

5ページの一番上になります。

歳出。41ページです。

問、医療費中、診療検査委託料120万円の減額の理由と、医薬材料費949万7千円と後発医薬品の使用に関して説明を。

答、まず委託料の減額は、血液検査等の減少によるものであります。それから後発医薬品（ジェネリック医薬品）については、現在37品目で、徐々に増やしておりますが、すべてジェネリックということではありませんので、薬品代は徐々に伸びている状況です。

その下にもありますが、これは黙読していただきたいと思えます。

次に、7ページを開いていただきたいと思えます。

議案第22号 平成25年度南部町国民健康保険特別会計予算の事業勘定の歳入であります。48ページです。

問、県補助金中、へき地医療確保対策事業費補助金318万8千円は、前年度額からだいぶ増えているが説明を。

答、これにつきましては、診療所の赤字補てんになります。万沢・南部両診療所について赤字額が増えておりますが、国は2分の1、県は3分の1の補助があります。診療日数等により基準額がありますが、万沢は23年度実績により、南部は赤字が大きいことから限度額で、それぞれ予算計上したもので、増額となっているところであります。

9ページを開いていただきたいと思います。

議案第24号 平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算の歳出であります。

一番下になります。

145ページ。

問、一般管理費の委託料中、後期高齢者医療被保険者健康診査委託料453万6千円の内容について説明を。

答、後期高齢者の健康診査委託料で、集団検診として健康管理事業団に委託しており、800人を見込んでおります。

10ページを開いていただきたいと思います。

これは福祉保健課・デイサービスセンター・アルファセンターの関係であります。

議案第1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について。

問、対策本部の構成・体制についての説明を。

答、平成21年に新型インフルエンザの発生があり、成田空港で防疫などがされました。その折、感染病対策の行動計画作成の指示により計画書の作成を行っております。今回、新型インフルエンザへの対応として、同じような行動計画を作成することが定められているわけですが、おそらく21年作成のものに近い形になると思います。形態としては、発生により県から指示が入り、それを受けて町長を本部長とし、総務課・災害対策担当の交通防災課、実際の防疫等の対応の中心となる福祉保健課・教育委員会・子育て支援課・社会福祉施設・商店等への周知の関係で産業振興課・医療機関による組織編成となることと思います。

その下であります。

議案第8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について。

問、介護度1から5、要支援1・2の対象者についての、デイサービスの使用可能日数や金額などの説明を。

答、デイサービスのみ利用ということではなく、ケアマネジャーが作成するケアプランにより、その家庭の介護力を考慮する中で、デイサービスを週に何日、ヘルパーさんを頼む、ショートステイなどの組み合わせにより作成するもので、フルタイムでデイサービスを利用するということではありません。また、週5日デイサービスを利用し、週末はショートステイを使うという家庭もあります。いろいろなケースが考えられ、一概には言えないということでご理解ください。

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）について。

11ページを開いていただきたいと思います。

問、P14、保健衛生費補助金の、がん検診推進事業費補助金59万2千円の減は、検診者数の減によるものか。

答、これには子宮がん検診・乳がん検診・大腸がん検診が対象となりますが、子宮がん検診

が180人で25%の受診率、乳がん検診は220人で42%の受診率、大腸がん検診は660人で約25%の受診率となりました。特に、大腸がん検診につきましては、受診率が少なかったため、再度呼び掛けを行いました。結果として減額補正となりました。

12ページを開いていただきたいと思います。

問、P16、県補助金保健衛生費補助金中、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費補助金が55万円減額となっているが、事業は予定どおり実施されたのか。対象者が減ったのか。

答、これは子宮頸がん・肺炎球菌・ヒブの、3種類の予防接種事業です。子宮頸がんにつきましては、ほぼ100%の接種がされましたが、肺炎球菌・ヒブについては、0歳から4歳までが対象で、年齢によっては4回の接種が必要な事業で、そのときの体調等によって接種できないことがあり、約70%の接種率となっています。このための減額です。

13ページを開いていただきたいと思います。

問、28P、老人福祉扶助費中、老人保護措置費が1,220万円の減だが、養護対象者が減っているのだと思う。慈生園の70床についても影響があると思うが、それらのことについて伺いたい。

答、当初予算の積算時には、入所等があった場合にも備えてとして44名の計上をしました。24年4月時点で在籍が37名でした。年度途中で5名が退所され3名が入所されました。結果、減額となりました。慈生園の経営については、70床となっていますが、現在62か63床で常に空き状態です。

その下に関連が書いてありますが、これもぜひ黙読をしていただきたいと思います。

14ページを開いていただきたいと思います。

議案第12号 平成24年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算(第3号)の歳入、一番上であります。

問、P15、介護給付費収入中、通所介護費収入494万7千円についての説明を。

答、これはデイサービスセンターの介護の利用者の増加による増額であります。当初は3,096人を見込んでおりましたが、実績で4,350人となる見込みで、1,254人分の増となったものであります。

その下の、議案第14号 平成24年度南部町介護保険特別会計補正予算(第3号)であります。一番上の質問であります。

問、全体で2,900万円の追加となっているが、要介護の方の認定数と増減の状況について。

答、認定者数については、要支援の方が114名、要介護1から5までの方が454名で計568名です。その中には入院をされている方などいますので、実際に在宅または施設サービスを利用している方は450名ほどになります。ここ数年は大幅な人数の変化はありません。

15ページを開いていただきたいと思います。中ほどであります。

議案第19号 平成25年度一般会計予算の歳入、一番上であります。

問、民生費国庫負担金心身障害者保護費負担金中、障害福祉サービス等負担金8,326万7千円についての説明を。

答、各種障害者サービスに対する国庫補助金で、南部町では本サービスを66名が利用しています。内訳は、居宅ヘルパー利用が9名、施設入所者が29名、グループホーム・ケアホー

ムの利用者が8名、就労サービスが14名、通所デイサービス利用者が6名となっております。

16ページを開いていただきたいと思います。

歳出であります。

問、P52、社会福祉費総務費委託料中、町社会福祉協議会委託料286万円について説明を。

答、これはボランティア活動に30万円、竹かごづくりの会に14万円、高齢者スポーツの集いに107万円、身障者スポーツの集いに10万円、身障者社会見学バスに44万円、母子福祉バスに35万円、高齢者健康バスに46万円で、運営や事業を委託するものです。

その下にも関係がありますので、これは見ていただきたいと思います。

17ページをお開きください。

議案第21号 平成25年度南部町指定居宅サービス特別会計予算であります。

一番下であります。議案の8号の条例改正に伴うものであります。

問、居宅介護サービス費収入が、前年度比874万円の増額見込みとなった説明を。

答、富沢デイサービスの利用定員を5名増とすることが主な要因です。24年度の年間利用者は3,096名を見込みましたが、25年度の利用者は4,200名を見込んでいます。

21ページを開いていただきたいと思います。

これは、25年度南部町一般会計の歳出であります。

21ページの一番下の項目であります。

問、児童福祉総務費委託料中、放課後児童保育事業委託料357万1千円があるが、需要者の人員は。

答、25年度見込みは登録児童ですが、睦合45人、栄10人、富河47人、万沢10人で合計112人の登録となっております。

22ページを開いていただきたいと思います。

上から2つ目。

問、P63、保育所総務費負担金、補助及び交付金中、就園児童支援金1,030万4千円についての説明を。

答、町内の保育所とみどり幼稚園に納付済み保険料と幼稚園費の30%を助成支援しています。平成17年度から実施しており、本年度はみどり幼稚園が45人、保育所が119人で計164人分を見込んであります。

24ページを開いていただきたいと思います。

水道環境課・環境センター関係であります。

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）、歳入の一番下になります。

問、P19、雑入中、再利用資源販売収入150万円増額について説明を。

答、主に鉄くずの販売量が多かったことと、少額ではありますが、昨年7月からの分別収集によるペットボトル・ミックス紙・プラスチック容器販売が新たに開始されたことにより、増額となりました。

歳出に移ります。歳出の2つ目であります。

問、P33、塵芥処理費委託料中、ごみ処理委託料1,620万円の減額について説明を。

答、峡南環境衛生組合へのごみの搬入量、月140トンを見込んでいましたが、平均すると月、約100トンとなり、ゴミ搬入量が減ったため減額となりました。

これは分別処理の成果だと思っております。
次に、平成25年度一般会計の分であります。
26ページを開いていただきたいと思っております。
歳出の一番上であります。

問、P44、交流促進施設整備事業費1億180万8千円について説明を。

答、測量設計委託料835万8千円の内容は、御崎原から中野の宿を通り南部バイパスまでの、送・配水管1,320メートルの測量設計委託料です。水道施設整備工事請負費9,345万円の内容は、南部水源施設改良工事としまして、造成、取水ポンプピット、ポンプ井築造、配管、電気計装設備、場内整備等です。なお、施設はすべて耐震化の整備をします。

一番下になります。

問、P75、環境衛生費負担金補助及び交付金中、太陽光発電システム設置費補助金100万円についての説明を。

答、住宅用太陽光発電システム設置費補助は、1キロワット当たり2万5千円で、上限は4キロワット10万円です。当初では10基を見込み計上しましたが、例年20基前後の申請がありますので、申請が多い場合には補正で対応したいと思っております。なお、補助額の上限が10万円では低いという意見がありますが、近隣市町村の補助額や住宅用太陽光発電システムが広く普及することをかんがみ、当面は10万円の補助で継続していきます。

27ページであります。

議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算の歳入であります。

一番上。

問、P7、簡易水道使用料について説明を。

答、給水人口及び使用水量の減により、24年度より150万円減の計上となりました。なお、本会計は一般会計からの繰り入れが増額となり、厳しい状況であり、今後は水道使用料の見直しも検討しなければならないと考えます。

29ページ、教育委員会関係であります。

議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第5号）の30ページを開いていただきたいと思っております。

一番下の質疑であります。これは議案以外の議員からの質問でありました。

問、放射能の測定状況、食材の放射能検査、PM2.5への対応について説明を。

答、放射線の測定は、現在も毎日各学校で実施しており、最近の測定値は0.13マイクロシーベルトで、年間換算値にすると0.68ミリシーベルトと、通常より高い日もありましたが、安心できる値です。食材の放射能検査は、昨年7月より毎月実施していますが、放射線物質は検出されておりません。PM2.5への対応については、1立方メートル当たり70マイクログラム以上が計測された場合には、県より注意報が発令され、屋外での活動等については適切な対応を取ることになります。

同じく、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算であります。32ページを開いていただきたいと思っております。

問、P25、県支出金教育費委託金中、学力パイロットスクール事業費委託金94万円について説明を。

答、本事業は、確かな学力の定着と向上を目指し、繰り返し学習の取り組みや効果的な学習

活動の導入、実践的な校内研究会推進による教師の指導力向上等について、研究実践をするものです。県内5地域のうち、峡南地域では南部中学校と睦合小学校が指定されました。1校当たり47万円の補助金で補助率は10分の10で、今年度は学力テストの実施と分析を行う予定です。なお、この事業による教員の加配はありませんが、大学等から講師を招き、効果的な事業にしたいと考えています。

33ページを開いていただきたいと思います。

問、P121、アルカディア文化館費負担金補助及び交付金中、近藤浩一路歿50年特別展補助金150万円について説明を。

答、合併10周年事業の一環でもある近藤浩一路歿50年特別展は、美術館運営審議委員を中心に10名程度で特別展実行委員会を組織し、企画運営をしていく予定で、この実行委員会に補助金を支出するものです。なお、開催は11月から12月を予定し、修善寺の葦山高校、三島の佐野美術館、清水の鈴与美術館、山梨県立美術館からの作品の借用を考えています。

問、P132、保健体育総務費負担金補助及び交付金中、チャレンジデー実行委員会補助金20万円について説明を。

これは町長も一番力を入れているところであります。

答、チャレンジデー実行委員会は、町補助金20万円と笹川スポーツ財団からの助成金約33万円、合計53万円で企画運営する予定です。この補助金により、教室講師謝礼、参加賞、町民への周知パンフレット印刷代、その他の経費を支出したいと考えています。

町長も先頭に立ってするというものであります。この予算に負けない成果を上げていただきたいと思います。

最後になりましたが、審議の過程で各議員より要望等も数多くありました。

それは町民の生活をより高めるという視点に立っての発言でありましたので、次回には今回の要望を考え、政策編成や予算編成ににじませていただきたいことをお願い申し上げまして、文教厚生常任委員会の委員会審査報告を終わります。

以上です。

○議長（萩原敬君）

委員長は、その場でお待ち願います。

委員長報告が終わりました。

委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、文教厚生常任委員会の委員長報告に対する質疑を終了いたします。

木内利明委員長、ご苦労さまでした。

ここで暫時休憩を行いたいと思います。

再開は11時から行います。

休憩 午前10時45分

再開 午前11時00分

○議長（萩原敬君）

再開いたします。

日程第3 提出議案の討論・採決を行います。

まず、議案第1号から議案第9号までの条例関係及び計画の変更についての9件を、一括で討論いたします。

討論はありませんか。

（ な し ）

討論なしと認めます。

次に、議案第10号から議案第18号までの補正予算関係についての9件を、一括で討論いたします。

討論はありませんか。

（ な し ）

討論なしと認めます。

次に、議案第19号から議案第28号までの当初予算関係についての10件を、一括で討論いたします。

討論はありませんか。

（ な し ）

討論なしと認めます。

以上で討論を終結いたします。

次に採決を行います。

採決は1議案ごとに順次行います。

最初に、議案第1号 南部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第1号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第2号 南部町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第2号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第3号 南部町道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第3号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第4号 南部町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第4号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第5号 南部町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第5号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第6号 南部町税条例の一部を改正する条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第6号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第7号 南部町学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第7号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第8号 南部町富沢デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第8号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第9号 南部町過疎地域自立促進計画の変更について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第9号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第10号 平成24年度南部町一般会計補正予算(第5号)について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第10号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第11号 平成24年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第11号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第12号 平成24年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算(第3号)について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第12号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第13号 平成24年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第13号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第14号 平成24年度南部町介護保険特別会計補正予算（第3号）について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第14号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第15号 平成24年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第15号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第16号 平成24年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第16号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第17号 平成24年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第17号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第18号 平成24年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第18号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第19号 平成25年度南部町一般会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第19号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第20号 平成25年度南部町簡易水道事業特別会計予算について、委員長報告

のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第20号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第21号 平成25年度南部町指定居宅サービス特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第21号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第22号 平成25年度南部町国民健康保険特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第22号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第23号 平成25年度南部町介護保険特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第23号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第24号 平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第24号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第25号 平成25年度南部町睦合財産区特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第25号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第26号 平成25年度南部町富沢財産区特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第26号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第27号 平成25年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計予算について、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第27号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第28号 平成25年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計予算につ

いて、委員長報告のとおり、原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第28号については、原案のとおり決定いたしました。

○議長（萩原敬君）

日程第4 委員会の閉会中の継続調査についてであります。議会運営委員会委員長、総務建設常任委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長から、会議規則第75条の規定により、お手元に配布のとおり、閉会中の継続調査の申し出がありました。

お諮りします。

各委員長から申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることに、ご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、各委員長からの申出書のとおり、閉会中の継続調査に付することに決定されました。

ここで追加議案が提出されました。

ただいま町長から、議案第29号 平成24年度南部町一般会計補正予算(第6号)、議案第30号 教育委員会委員の任命について、議案第31号 教育委員会委員の任命についての3件が提出されました。

お諮りいたします。

この3件を日程に追加し、追加日程第1として議題としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第29号から議案第31号を日程に加え、追加日程第1とし、議題とすることに決定いたしました。

追加日程第1 初めに議案第29号 平成24年度南部町一般会計補正予算(第6号)を議題とし、町長の提案理由の説明を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

本定例会に追加議案を提案させていただくことになりましたので、提案理由の説明をさせていただきます。

議案第29号 平成24年度一般会計補正予算(第6号)であります。補正予算(第5号)で繰越明許費を設定させていただきました。中山間地域総合整備事業と木造住宅耐震改修事業の2件の事業につきまして、地方債の限度額が確定したことと、国・県の補助金の財源内訳が変更となったため、補正を行うものであります。

詳細な説明につきましては、担当課長に説明させますので、よろしくご審議をいただき、議決を賜りますようお願い申し上げます。私の提案理由の説明を終わらせていただきます。

○議長（萩原敬君）

町長の提案理由の説明が終わりました。

次に担当課長の補足説明を求めます。

四條財政課長。

○財政課長（四條和彦君）

（補足の説明・省略）

○議長（萩原敬君）

以上で担当課長の補足説明を終わります。

それでは、議案第29号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第6号）について、質疑・討論・採決を行います。

まず質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で議案第29号の質疑を終了いたします。

これより討論を行います。

議案第29号について、討論はありませんか。

（ な し ）

討論なしと認めます。

以上で、討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議案第29号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第6号）について、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第29号 平成24年度南部町一般会計補正予算（第6号）については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第30号 教育委員会委員の任命について、議案第31号 教育委員会委員の任命についての2件を議題といたします。

望月宝君が議場におられますので、退席をお願いいたします。

（ 退 席 ）

町長の提案理由の説明を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、議案第30号、議案第31号についてであります。教育委員会委員の任命につきましては、議会の同意をいただかなければ、任命することができないため、お願いする人事案件であります。

議案第30号であります。教育委員の近藤恵子委員から辞職願が提出されましたので、その後任といたしまして、教育委員に南部町十島153番地、瀧政幸氏を任命するものであります。

続いて、議案第31号であります。久保川昭弘教育長から辞職願が提出されましたので、その後任といたしまして、教育委員会委員に南部町中野2368番地、望月宝君を任命するものであります。

本定例会に2件の追加議案として、ご提案させていただきました。

よろしくご審議を賜り、ご同意いただきたくお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わらせていただきます。

○議長（萩原敬君）

町長の提案理由の説明が終わりました。

お諮りいたします。

本2件は人事案件でありますので、質疑・討論を省略して、ただちに採決に入りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、質疑・討論を省略して、ただちに採決に入ることに決定いたしました。

それでは最初に、議案第30号 教育委員会委員の任命についての件を採決いたします。

本案は原案のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第30号については、原案のとおり同意されました。

次に、議案第31号 教育委員会委員の任命についての件を採決いたします。

本案は原案のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第31号については、原案のとおり同意されました。

それでは、望月宝君は席にお戻りください。

（着席）

ここで、ただいま教育委員会委員に同意されました望月宝君の発言を許します。

望月宝君、登壇してください。

○教育委員会委員（望月宝君）

ただいまは、教育委員の選任にあたりましてご同意をいただき、誠にありがとうございました。

また、厳粛な議場におきまして、ごあいさつを申し上げる機会をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

歴史と伝統ある南部教育に、委員としての責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでいっぱいであります。

この激動する社会におきまして、学校教育はもとより、家庭教育、社会教育の果たす役割はますます大きいものとなっております。

このような中で、微力な私ではありますが、南部町の教育行政推進のために、誠心誠意努力してまいりたいと決意しております。

議員の皆さま方の温かいご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

○議長（萩原敬君）

以上で、あいさつを終わります。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。
よって、本定例会に付議されました案件はすべて議了いたしました。
これをもちまして、平成25年南部町議会第1回定例会を閉会といたします。
ご苦労さまでした。

閉会 午前11時30分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

平成25年3月22日

南部町議会議長

萩原敬

会議録署名議員

望月藤一

会議録署名議員

望月將名

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議会事務局長 望月哲也